

令和2年度版

# 消 防 年 報

令和3年度刊行 第46号

白山野々市広域消防本部

# 消 防 訓

- 一 われら消防職員は、使命の重要性を深く認識し、厳正な規律と士気の高揚につとめる。
- 一 われら消防職員は、強健な身体と不屈の精神を養い、誠実に職務の遂行につとめる。
- 一 われら消防職員は、知識をひろめ技術の習得に励み、あわせて豊かな教養を身につけるようつとめる。
- 一 われら消防職員は、互いに励まし助け合い、全体の協調融和につとめる。
- 一 われら消防職員は、消防人としての自覚と誇りをもつて行動し、住民の期待と信頼にこたえるようつとめる。

昭和五十三年九月一日制定



消防章の輪郭を台地とし、当消防本部を中心に置き、5署3分署を8の頂点で表した多角形で、地域の安全・安心を守るという意気込みを象徴するものです。

平成 5年 4月 1日制定  
平成17年 2月 1日改定  
平成23年11月11日改定

本書は、白山野々市広域事務組合の消防現勢、令和2年度（災害統計は令和2年）中の各種統計情報等について編集したものです。

令和4年1月

白山野々市広域消防本部

# 目 次

## 消防現勢（令和3年4月1日現在）

### 地勢及び消防のあゆみ

位置及び地勢	1
組合の構成市町	2
組合消防のあゆみ	3

### 消防組織編

組織及び施設	18
組合消防概況図	20
組織機構図及び事務分掌	21
消防職員配置表、階級別職員数	22
年齢区分別職員数、勤続年数別職員数	23
消防職員の各種免許・資格取得状況	24
令和3年度白山野々市広域事務組合歳入歳出予算額（当初）	25
歳入歳出予算額の構成、消防費予算性質別比較	26
消防費当初予算の推移	27

### 消防施設編

車両配置状況	28
資器材一覧表	29
高機能消防指令センターの機能	31
無線局設置状況、通信施設設置状況	32

### 予 防 編

火災予防運動	33
防火・防災組織の現況	34
中高層建築物の現況	35

## 年度統計（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

広報活動及び防火指導	36
防火対象物の数	37
予防査察の数	38
建築同意事務処理状況	39
防火管理	40
各種届出等受理状況	41
危険物規制	42
危険物施設数	43
危険物施設の規模及び種別	44
危険物施設許可・検査の状況、液体危険物タンクの完成検査前検査の状況	45

危険物施設の立入検査状況	46
各種救命講習実施状況	47
消防音楽隊	48
防災学習センター	49
<b>災害統計（令和2年1月1日～令和2年12月31日）</b>	
<b>火 災 編</b>	
令和2年の火災概要	50
火災状況及び前年比較	51
過去5年間の火災状況	52
構成市町別出火状況	53
過去5年間の構成市町別出火状況	54
過去5年間の原因別出火状況	55
時間・曜日・覚知・原因別出火件数	56
<b>救急・救助編</b>	
令和2年の救急及び救助概要	57
救急活動状況	58
過去5年間の救急活動概要	59
構成市町別救急状況	60
救急隊別救急活動状況	61
事故種別年齢区分別傷病程度別搬送人員	62
時間帯別出動件数、時間帯別搬送人員	63
現場到着所要時間別出動件数、医療機関収容所要時間別搬送人員	64
曜日別月別出動件数、曜日別月別搬送人員	65
白山白川郷ホワイトロード及び北陸自動車道における救急状況	66
救助状況及び前年比較	67
構成市町別救助状況	68
災害対応救助隊等の状況調査	69
<b>そ の 他</b>	
119番着信件数、口頭指導及びバイスタンダー応急手当の状況	70
障害者・外国人に円滑に対応するための取組	71
消防車両等の出動状況	73

### 備 考

- 1 文中及び各表の金額と比率は、原則として表示単位の小数第1位を四捨五入したものであり、合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 2 各表中の符号の用法は、次のとおりである。  
 「—」… 該当数値のないもの、意味のないもの  
 「△」… 比較により減少したもの

# 消防現勢

## 地勢及び消防のあゆみ



はくさん  
白山

古くから雪の「しらやま」や「越のしらね」の名で和歌にも詠まれた白山は、富士山、立山とともに日本三名山の一つに数えられ、標高2,702メートルの主峰「御前峰」からのご来光は、身も心も癒してくれます。

また一方では、信仰の山としても知られ、養老元年（717年）に越前の僧泰澄が初めて白山に登り、修行したのが登拝の始まりと伝えられています。

昭和37年には、国立公園に指定され、その環境の下、ハクサンコザクラ、ミヤマクロユリほか多種の高山植物が自生し、ニホンカモシカやイヌワシが時折その姿を現してくれます。

近年の登山ブームに加え、平成29年には開山1300年を迎えたことで、多くの登山客で賑わっています。

# 位 置 及 び 地 勢



本組合は、白山市、野々市市及び川北町で組織され、石川県の南部域である通称「加賀地方」に位置しています。ここでは、日本三名山の一つに数えられる白山が見事な山容を見せ、この名山を源とする手取川が肥沃で広大な扇状地を形成し、「日本の渚百選」に選ばれた小舞子海岸のある日本海へ注いでいます。

白山市の北西部（白山市合併前の松任市、美川町及び鶴来町）、野々市市及び川北町は、手取川扇状地にあり、加賀の穀倉地帯として知られる金沢平野の一部を形成しています。

また、この地域は、金沢外環状道路海側環線の開通や白山インターチェンジの設置により、住宅地の増加そして商業施設や工場の進出が目立っています。その他の地域（白山市合併前の河内村、吉野谷村、鳥越村、尾口村及び白峰村）は、白山の麓にあり、温泉や四季折々の豊かな自然に恵まれ、そこには多くの人達が観光や登山そしてスキーを楽しみに訪れています。

交通機関としては、南北に国道157号と北陸鉄道石川線が走り、東西に国道8号と高速自動車国道北陸自動車道そしてJR北陸本線が走っています。そして、平成27年3月の北陸新幹線開通に伴い、白山市内に車両基地が整備されています。

また、白山の北側を岐阜県に通じる有料山岳ドライブウェイの白山林道（通称「白山白川郷ホワイトロード」）は、新緑の6月から紅葉の11月初めまでの供用期間に、多くのツーリストに雄大な自然のパノラマを提供しています。

## 組合の構成市町

白山市 (はくさんし)	野々市市 (ののいちし)	川北町 (かわきたまち)
		
<p>青空にそびえる緑豊かな白山を象徴として中央に配置、その麓に流れる3本の潮流は、上の1本が手取川、下の2本は日本海を表現しています。</p> <p>右上がりの楕円に包まれた造形は、豊かな自然に育まれ未来へ発展しつづける白山市をあらわしています。</p>	<p>平仮名で”のの”を組み合わせ分銅を形成し、市の融和発展を象徴した簡潔清爽な意匠です。</p>	<p>上の部分は、雄大な靈峰白山に源を発する県下最大の手取川をかたどり、町の永遠の発展を表しています。</p> <p>下の部分は、その両岸に広がる肥沃な加賀平野に抱かれている川北町の豊かさと平和の願いを表したもので、町のたゆみない前進を象徴しています。</p>

市町別	面積(km <sup>2</sup> )	人口(人)	世帯数(世帯)
組合管轄	783.13	173,204	71,753
白山市	754.93	113,457	45,219
松任地域	※59.93	72,147	28,926
美川地域	※9.12	12,440	4,948
鶴来地域	※35.64	23,451	9,065
河内地域	※74.42	973	404
吉野谷地域	※142.89	903	408
鳥越地域	※74.15	2,390	929
尾口地域	※137.52	437	227
白峰地域	※221.5	716	312
野々市市	13.56	53,592	24,542
川北町	14.64	6,155	1,992

※ 平成27年3月、国土地理院により白山市の面積が755.17平方キロメートルから754.93平方キロメートルに変更となりましたが、各地域についての変更面積は未発表のため、旧来の数値としています。

## 組合消防のあゆみ

松任市、美川町、鶴来町、野々市町、河内村、吉野谷村、鳥越村、尾口村及び白峰村の1市3町5村が、生活の多様化と高度化に伴い組織の広域化を図り、有機的な連携のもとに防災機能の飛躍的拡充を図るため「松任石川広域消防組合」を発足させた。

昭和50年 4月 1日 1市3町5村からなる広域消防の設立が石川県知事から許可され、松任石川広域消防組合を設立。初代消防長に間野四郎就任

従来から常備体制があった松任市に消防本部及び消防署を、美川町、鶴来町、野々市町及び吉野谷村に分署を、白峰村に分遣所をそれぞれ設け、消防長以下34名、事務局3名で発足。消防庁舎については、とりあえず仮庁舎とし、各市町村から譲渡された消防ポンプ自動車及び救急車により、消防業務を開始

4月 9日 消防職員19名を採用。それぞれの分署及び分遣所に配属し、事実上の分署開設

6月 1日 消防職員3名採用

9月 1日 消防職員3名を採用し、総員59名となる。

10月 16日 超短波無線電話基地局5局（分署及び分遣所）及び移動局7局（美川1、鶴来2、野々市1、白山1、白峰2）を購入

11月 28日 超短波無線電話移動局2局を購入（野々市、白山）

昭和51年 2月 26日 東消式高発泡器を購入

4月 1日 消防職員9名採用

6月 30日 消防職員1名退職

9月 1日 消防職員1名を採用し、総員68名となる。

10月 5日 消防庁から救急車1台が譲与され、美川分署に配置し、救急業務を開始

11月 24日 水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、鶴来分署に配置

12月 7日 消防本部・消防署庁舎を総工費1億2,750万円で3月に着工。11月に完成し、12月7日から業務を開始。美川、鶴来、野々市、白山の各分署庁舎も12月に完成し、それぞれ新庁舎にて、業務を開始

12月 9日 超短波無線電話移動局2局（美川、鶴来）、携帯局5局（美川、鶴来、野々市、白山、白峰）を購入し、通信施設の増強を図る。

昭和52年 2月 28日 消防庁から救急車1台が譲与され、野々市分署に配置。従来の救急車を消防本部の本部車とする。

3月 2日 ジェットシャーター4台を購入し、鶴来分署、白山分署及び白峰分遣所に配置

3月 12日 空気呼吸器（ライフゼム8型）5基を購入

4月 1日 消防職員10名を採用し、総員78名となる。  
9月28日 消防ポンプ自動車1台を購入し、白山分署に配置  
11月12日 はしご付消防ポンプ自動車（30m級）1台を購入し、消防署に配置  
超短波無線電話移動局3局購入（消防署2、野々市1）し、うち野々市分署の旧機  
を本部車に設置  
12月20日 消防一斉指令装置（緊急電話集約機設備）を設置  
12月22日 16ミリ映写機一式を購入

昭和53年 3月 2日 2B型救急車1台を購入。鶴来分署に配置し、旧車を廃車  
3月31日 消防長 間野四郎 松任市へ帰任  
消防職員1名美川町へ帰任。職員1名退職  
4月 1日 消防長 金森 義 就任。新たに次長として組合事務局から1名出向  
消防職員4名を採用し、総員81名となる。  
9月 1日 職務遂行の指針として「消防訓」を制定  
11月 7日 II型化学消防ポンプ自動車1台を購入。消防署に配置し、旧水槽付消防ポンプ自  
動車を廃車  
超短波無線電話移動局1局を購入（消防署）

昭和54年 3月31日 次長は松任市に、消防職員1名は鶴来町へそれぞれ帰任  
4月 1日 消防職員4名を採用し、総員83名となる。  
8月31日 消防職員1名退職  
9月20日 日本消防協会から2B型救急車1台が譲与され、消防署に配置。従来の救急車を救  
急予備車とする。  
小型動力ポンプ積載車を白山分署に配置  
消防職員1名退職  
10月26日 消防職員1名が病死し、総員80名となる。  
11月29日 消防ポンプ自動車1台を購入し、野々市分署に配置  
超短波無線電話移動局1局を購入（野々市）  
12月20日 白峰分遣所庁舎を総工費2,020万円で7月に着工。11月に完成し、12月20日から  
新庁舎にて業務を開始

昭和55年 3月31日 消防職員1名退職  
消防本部庁舎前に緊急出動用点滅装置を設置  
4月 1日 消防職員10名を採用し、総員89名となる。  
10月 9日 超短波無線電話携帯局2局を購入（消防署）  
10月14日 北陸自動車道の美川インターチェンジ設置に伴い、高速道路救急業務を開始

(金沢西IC～小松IC間)

- 10月25日 消防職員1名退職
- 11月29日 消防ポンプ自動車1台を購入し、消防署に配置。従来の消防ポンプ自動車を福留分遣所に配置し、分遣所の車を消防ポンプ予備車とする。  
超短波無線電話移動局1局を購入（消防署）
- 12月 3日 消防庁から2B型救急車1台が譲与され、消防署に配置。従来の救急車を白峰分遣所へ配置替えし、分遣所の救急車を廃車

昭和56年 3月31日 消防長 金森 義 松任市へ帰任

- 4月 1日 松任石川地区環境衛生施設組合と松任石川広域消防組合を統合し、松任石川広域事務組合となる。  
消防長 林 政伍 就任  
消防職員1名松任市へ派遣。消防職員3名を採用し、総員90名となる。
- 11月 9日 II型化学消防ポンプ自動車1台を購入し、美川分署に配置  
消防ポンプ自動車1台を購入し、鶴来分署に配置  
超短波無線電話移動局2局を購入（美川、鶴来）

昭和57年 2月20日 超短波無線電話携帯局2局を購入（鶴来、白山）

- 4月 1日 消防職員6名を採用し、総員96名となる。
- 9月30日 消防職員1名退職  
松任市福留町にあった福留分遣所を廃止。同分遣所に配置の消防ポンプ自動車2台のうち1台を廃車し、予備車を千代野分署へ配置替えする。
- 10月 1日 松任市の駅西地区に千代野分署庁舎・松任市コミュニティ防災センター及び消防訓練場を総工費9,950万円で5月15日に着工し、9月30日に完成。職員6名と新しく購入した消防ポンプ自動車1台を配置し、業務を開始  
超短波無線電話移動局1局を購入（千代野）
- 10月19日 日本防火協会から防火広報車の贈呈を受け、消防署に配置し、超短波無線電話移動局を設置（鶴来）
- 10月28日 超短波無線電話携帯局2局を購入（美川、野々市）
- 12月 1日 消防職員1名を採用し、総員96名となる。
- 12月20日 消防ポンプ自動車1台を購入。美川分署に配置し、旧車を廃車

昭和58年 3月31日 予防査察車1台を購入。消防本部に配置し、旧車を廃車

- 超短波無線電話携帯局1局を購入（消防署）  
消防長 林 政伍 松任市へ帰任  
4月 1日 消防長 浜野茂松 就任

消防職員1名鶴来町へ帰任、1名松任市へ派遣、9名を採用し、総員103名となる。  
11月28日 野々市分署庁舎の車庫増床及び改修工事を総工費1,900万円で8月18日に着工し、  
11月28日に完成  
屈折はしご付消防ポンプ自動車（20m級）1台を購入し、野々市分署に配置  
超短波無線電話移動局1局を購入（野々市）

昭和59年 2月16日 超短波無線電話携帯局2局を購入（消防署）  
4月 1日 5ヵ年整備計画に基づき、消防署の組織機構の改正を行い、消防署を松任消防署に改名。鶴来分署を白山郷消防署に昇格させ、1本部2署4分署1分遣所となる。  
消防音楽隊を27名編成で発隊  
消防職員1名を中央清掃センターへ出向させ、7名を採用し、総員109名となる。  
8月23日 日本消防協会から2B型救急車1台の贈呈を受け、松任消防署に配置  
9月 3日 超短波無線電話携帯局1局を購入（白山郷）  
9月10日 白山郷消防署庁舎改修工事を総工費1,045万円で6月12日に着工し9月10日に完成  
9月30日 消防職員1名退職。消防職員1名を採用し、総員109名となる。  
10月26日 日本損害保険協会から救助工作車の贈呈を受け、千代野分署に配置  
11月12日 超短波無線電話移動局1局を購入（松任）  
12月21日 消防指令車1台を購入し、白山郷消防署に配置  
超短波無線電話移動局2局を購入（松任、白山郷）

昭和60年 3月31日 消防長 浜野茂松 松任市へ帰任  
4月 1日 消防長 福島正美 就任  
消防職員4名を採用し、総員113名となる。  
5月20日 松任消防署配備のはしご付消防ポンプ自動車（30m級）の分解整備を5月20日に着手し、9月18日に完了  
10月 2日 美川分署の庁舎改修工事を総工費948万円で6月26日に着工し、10月2日に完成  
12月25日 2B型救急車1台を国庫補助で購入。白山分署に配置し、旧車を廃車

昭和61年 4月 1日 消防職員4名を採用し、総員117名となる。  
5月 9日 予防査察車1台を購入。消防本部に配置し、旧車を廃車  
5月27日 消防職員1名退職  
10月15日 白山分署の庁舎改修工事及び美川分署ホース乾燥柱設置工事を総工費1,530万円で6月24日に着工し、10月15日に完成

昭和62年 2月18日 2B型救急車1台を消防庁から譲与。1台を県費補助で購入し、美川分署及び野々市

分署に配置し、旧車を廃車

2月27日 消防ポンプ自動車1台を購入。白峰分遣所に配置し、旧車を廃車

3月31日 消防職員3名退職

4月 1日 消防職員5名を採用

7月20日 超短波無線電話携帯局1局を購入（白峰）

10月 1日 消防職員1名を組合事務局へ出向させ、総員117名となる。

11月30日 II型化学消防ポンプ自動車1台を購入。白山郷消防署に配置し、旧水槽車を廃車

12月10日 千代野分署配備の消防ポンプ予備車を廃車

昭和63年 3月31日 消防長 福島 正美 松任市へ帰任  
消防職員2名退職

4月 1日 消防長 出村義治 就任  
松任市から派遣職員1名、消防職員1名を採用し、総員117名となる。

11月29日 超短波無線電話携帯局1局を購入（野々市）し、旧機を消防本部に配置

12月 2日 消防職員1名退職

12月12日 水槽付消防ポンプ自動車II型1台を国庫補助で購入。野々市分署に配置し、旧水槽車を廃車  
2B型救急車1台を消防庁から譲与。白山郷消防署に配置し、旧車を廃車

12月20日 超短波無線電話基地局1局を購入（松任）し、旧機を予防2号車に設置

平成元年 4月 1日 事務局への出向職員1名帰任。消防職員3名を採用し、総員120名となる。

4月30日 消防職員2名退職

6月27日 機材車1台を購入。松任消防署に配置し、旧車を廃車

12月25日 2B型救急車1台を消防庁から譲与。白峰分遣所に配置し、旧車を廃車

平成 2年 1月 1日 消防職員1名採用

3月31日 消防職員2名退職

4月 1日 消防職員4名を採用し、総員121名となる。

7月10日 本部指令車1台を購入。松任消防署に配置し、旧車を廃車

9月 3日 消防職員1名が交通事故死し、総員120名となる。

平成 3年 3月19日 消防ポンプ自動車1台を購入し、松任消防署に配置

3月31日 消防長 出村義治 松任市へ帰任  
松任市からの派遣職員1名松任市へ帰任

4月 1日 消防長 佐々木成功 就任

消防職員4名を採用し、総員123名となる。

8月24日 野々市分署配備の届けはしご付消防ポンプ自動車（20m級）の分解整備を4月15日に着手し、8月24日に完了

11月18日 救急車1台を購入。松任消防署に配置し、旧救急1号車を廃車

平成 4年 3月31日 消防長 佐々木成功 松任市へ帰任  
消防職員2名退職

4月 1日 消防長 長田信二郎 就任  
消防署の組織機構の改正を行い、野々市分署を野々市消防署に昇格し、1本部3署3分署1分遣所となる。  
消防職員5名を採用し、総員125名となる。

4月30日 消防職員1名退職

6月 1日 予防査察車1台を購入。消防本部に配置し、旧車を廃車

7月 4日 消防本部高圧受電設備を設置

9月10日 松任消防署配置のはしご付消防ポンプ自動車（30m級）の分解整備（2回目）  
を、4月13日に着手し、9月10日に完了

9月30日 超短波無線電話携帯局2局を購入（千代野、白山）

12月16日 消防ポンプ自動車1台を購入。白山分署に配置し、旧車を廃車

平成 5年 3月31日 消防職員1名退職

4月 1日 消防職員11名を採用し、総員134名となる。  
消防本部シンボルマークを制定

4月26日 予防査察車1台を購入し、消防本部に配置

7月30日 消防指令車1台を購入し、野々市消防署に配置  
日本防火協会から防火広報車の贈呈を受け、松任消防署に配置し、旧車を廃車

9月30日 消防職員2名退職

10月21日 高規格救急自動車1台を国庫補助で購入。松任消防署に配置し、旧車を廃車  
超短波無線電話携帯局2局を購入（松任、野々市）

11月 1日 救急救命士による救急業務を開始

11月10日 消防職員1名退職

平成 6年 1月28日 消防ポンプ自動車1台を購入。野々市消防署に配置し、旧車を廃車

3月31日 消防職員2名退職

4月 1日 消防職員1名松任市へ派遣させ、9名を採用し、総員137名となる。

7月27日 消防指令車1台を購入。白山郷消防署に配置し、旧車を廃車

10月 9日 消防音楽隊発足10周年記念演奏会を松任市民会館で開催

- 10月19日 山岳救助機材車1台を購入。白山分署に配置し、小型動力ポンプ積載車を廃車  
超短波無線電話携帯局2局を購入（美川、白山郷）  
11月18日 白峰分遣所庁舎を移転し、11月18日から新庁舎で業務を開始

- 平成 7年 1月18日 阪神・淡路大震災に石川県派遣隊として、10名派遣  
3月16日 消防職員1名退職  
3月31日 消防長 長田信二郎 退任  
消防職員2名退職  
4月 1日 消防長 関野一長 就任  
消防職員8名を採用し、総員142名となる。  
消防本部消防課に危険物係が新設される。  
消防音楽隊カラーガード隊が12名で発隊  
4月24日 消防職員1名退職  
4月30日 消防職員1名退職  
6月 2日 第19回婦人防火全国大会が松任総合運動公園文化体育館で開催される。  
10月18日 高規格救急自動車1台を購入。白山分署に配置し、旧車を廃車

- 平成 8年 1月 4日 超短波無線電話携帯局1局を購入（白峰）  
1月30日 消防ポンプ自動車2台を購入。白山郷消防署と美川分署に配置し、旧車を廃車  
3月28日 松任市から高規格救急自動車の交付を受け、松任消防署に配置  
3月31日 消防長 関野一長 松任市へ帰任  
消防職員1名退職  
4月 1日 消防長 辰田忠明 就任  
消防本部の組織機構を改正を行い、予防課（予防係、危険物係）を新設。消防  
課（警防係、救急救助係）と庶務課（庶務係）の3課体制となる。  
消防職員8名を採用し、総員147名となる。  
6月 5日 高規格救急自動車を美川分署に配置し、旧車を廃車  
6月17日 消防職員1名退職  
7月12日 水難救助隊が9名で発隊  
8月 8日 日本損害保険協会から、消防ポンプ自動車の贈呈を受け、千代野分署に配置  
8月31日 山岳救助隊が13名で発隊  
10月 1日 消防職員委員会が発足  
11月 1日 石川県消防防災航空隊に1名派遣  
11月11日 勝山市と消防相互応援協定を締結  
11月21日 消防ポンプ予備車を廃車  
12月16日 III型救助工作車1台を購入。千代野分署に配置し、旧車を廃車  
資機材搬送車1台を購入し、千代野分署に配置  
12月24日 特別救助隊が12名、化学救助隊が11名で発隊

平成 9年 1月 2日 タンカー「ナホトカ」重油流出事故に沿岸海域の重油回収のため職員を派遣  
3月18日 高規格救急自動車1台を購入。野々市消防署に配置し、旧車を廃車  
4月 1日 消防署の組織機構の改正を行い、美川分署を美川消防署に、白山分署を白山消防署に、白峰分遣所を白峰分署に昇格させ、白山郷消防署を鶴来消防署に改称して、1本部5署2分署となる。  
消防職員10名を採用し、総員156名となる。  
4月28日 予防査察車1台を購入。消防本部に配置し、旧車を廃車  
5月22・23日 第44回全国消防長会組合消防委員会が松任市で開催  
7月 9日 消防指令車1台を購入し、美川消防署に配置  
9月30日 消防職員1名退職  
10月 7日 高規格救急自動車1台を購入。鶴来消防署に配置し、旧車を廃車  
11月 5日 III型化学消防ポンプ自動車1台を購入。松任消防署に配置し、旧車を廃車  
12月17日 超短波無線電話携帯局2局を更新（本部、松任）

平成10年 3月31日 消防職員2名退職  
4月 1日 消防職員11名を採用し、総員164名となる。  
7月28日 消防指令車1台を購入し、白山消防署に配置  
8月26日 野々市消防署配置の届折はしご付消防ポンプ自動車（20m級）の分解整備を4月  
13日に着手し、8月26日に完了  
10月15日 第39回石川県防災総合訓練が松任市で開催  
12月31日 消防職員1名退職

平成11年 1月20日 超短波無線電話携帯局2局を更新（松任、千代野）  
1月31日 消防職員1名退職  
2月 2日 はしご付消防ポンプ自動車（30m級）1台を国庫補助で購入。松任消防署に配  
置し、旧車を廃車  
3月31日 消防長 辰田忠明 松任市へ帰任  
4月 1日 消防長 松原仁司 就任  
消防職員3名を採用し、総員165名となる。  
4月28日 高規格救急自動車を1台購入。白峰分署に配置し、旧車を廃車  
8月26日 II型化学消防ポンプ自動車1台を購入。美川消防署に配置し、旧車を廃車  
9月30日 消防職員1名退職  
11月29日 超短波無線電話携帯局2局を更新（鶴来、美川）

平成12年 2月 1日 野々市消防署庁舎を移転し、2月1日から新庁舎で業務を開始  
3月11日 野々市消防署新庁舎竣工・松任石川広域消防25年及び消防音楽隊発足15周年・  
カラーガード隊発足5周年の記念演奏会を野々市町文化会館（フォルテ）で開催

3月31日 消防職員2名退職  
4月 1日 消防職員5名を採用し、総員167名となる。  
6月28日 消防指令車1台を購入し、白峰分署に配置  
10月19日 超短波無線電話携帯局2局を更新（松任、白山）

平成13年 3月31日 消防長 松原仁司 松任市へ帰任  
4月 1日 消防長 上田昭男 就任  
消防職員1名を松任市へ派遣し、松任市から派遣職員1名を受け入れる。  
消防職員3名を採用し、総員170名となる。  
10月15日 超短波無線電話基地局2局（鶴来、野々市）と携帯局2局（松任、野々市）を更新する。  
11月28日 消防職員1名退職

平成14年 3月31日 消防職員1名退職  
4月 1日 消防職員1名松任市から帰任し、松任市からの派遣職員1名松任市へ帰任する。  
消防職員4名を採用し、総員172名となる。  
9月20日 超短波無線電話基地局2局（美川、白峰）と携帯局2局（美川、白山）を更新する。  
10月 7日 消防職員1名退職

平成15年 1月21日 消防ポンプ自動車1台を購入。白峰分署に配置し、旧車を廃車  
1月31日 消防職員1名退職  
2月 4日 消防長 上田昭男 松任市へ帰任  
2月 5日 消防長 中山正吉 就任  
4月 1日 松任市から派遣職員1名を受け入れ、消防職員5名を採用し、総員175名となる。  
10月 6日 予防査察車1台の寄贈を受ける。  
10月28日 高規格救急自動車1台を国庫補助で購入。松任消防署に配置し、旧車を廃車  
10月30日 超短波無線電話基地局1局（白山）と携帯局2局（松任、鶴来）を更新する。  
11月13日 消防職員1名が病死し、総員174名となる。

平成16年 2月23日 水槽付消防ポンプ自動車1台を国庫補助で購入。野々市消防署に配置し、旧車を廃車  
3月31日 消防長 中山正吉 退任・退職  
4月 1日 消防長 米山正昭 就任  
消防職員4名を採用し、総員178名となる。  
6月23日 消防指令車1台を購入。松任消防署に配置し、旧車を千代野分署連絡車として配置

- 7月13日 新潟・福島豪雨に石川県緊急消防援助隊として、5名派遣  
7月18日 福井豪雨に石川県緊急消防援助隊として、5名派遣  
9月30日 松任市からの派遣職員1名松任市へ帰任し、総員177名となる。  
10月 1日 超短波無線電話携帯局1局（鶴来）を更新する。  
10月24日 新潟県中越地震に石川県緊急消防援助隊として、10名派遣  
11月13日 消防音楽隊発足20周年・カラーガード隊発足10周年の記念演奏会を白山市鶴来総合文化会館（クレイン）で開催する。  
11月30日 消防本部車1台を購入。消防本部に配置し、旧車を廃車

- 平成17年 2月 1日 当組合加入市町村のうち、松任市、美川町、鶴来町、河内村、吉野谷村、鳥越村、尾口村、白峰村の1市2町5村が合併して白山市となり、名称を「松任石川広域事務組合」から「白山石川広域事務組合」に、同じく消防本部名を「松任石川広域事務組合消防本部」から「白山石川広域消防本部」に改める。  
4月 1日 消防本部の組織機構の改正を行い、消防課に情報通信係を新設し、同課救急救助係を救急係と改称する。  
消防職員4名を採用し、総員181名となる。  
8月 4日 消防指令車を購入。野々市消防署に配置し、旧車を千代野分署連絡車として配置  
9月30日 消防職員1名退職  
12月 8日 化学消防ポンプ自動車1台を国庫補助で購入。鶴来消防署に配置し、旧車を石川県消防学校に教育訓練用として寄附  
12月20日 予防査察車1台を購入。消防本部に配置し、旧車を廃車

- 平成18年 3月24日 消防ポンプ自動車1台を県費補助（石油交付金）で購入。松任消防署に配置し、旧車を廃車  
4月 1日 消防職員4名を採用し、総員184名となる。  
消防本部の組織機構の改正を行い、指揮隊を新設。松任消防署及び野々市消防署に配置し、運用開始  
石川県消防防災航空隊に1名派遣  
9月20日 警防車を購入。消防本部に配置し、旧車を野々市消防署連絡車として配置

- 平成19年 3月25日 能登半島地震に石川県消防広域応援隊として、7名派遣  
3月30日 超短波無線電話携帯局2局を購入（指揮隊）  
3月31日 消防職員4名退職  
4月 1日 消防職員3名を採用し、総員183名となる。  
消防本部の組織機構の改正を行い、消防庁舎整備室を新設  
10月17日 超短波無線電話基地局1局（美川）を更新する。

平成20年 3月 3日 屈折はしご付消防ポンプ自動車（20m級）1台を購入。野々市消防署に配置し、旧車を廃車  
3月31日 消防職員2名退職  
4月 1日 消防職員3名を採用し、総員184名となる。  
6月30日 消防職員1名退職  
7月14日 消防指令車1台を購入。鶴来消防署に配置し、旧車を廃車  
8月19日 松任消防署配置のはしご付消防ポンプ自動車（30m級）の分解整備に着手し、  
平成21年3月30日に完了

平成21年 2月 5日 消防本部・松任消防署庁舎を移転建設するため三浦町にて起工式を行う。  
3月24日 消防ポンプ自動車1台を県費補助で購入。野々市消防署に配置し、旧車を廃車  
3月31日 消防長 米山正昭 白山市へ帰任  
4月 1日 消防長 竹田由喜夫 就任  
職員定数を改正し、197人となる。  
消防職員7名を採用し、総員190名となる。  
11月 1日 消防音楽隊発足25周年・カラーガード隊発足15周年の記念演奏会を白山市鶴来  
総合文化会館（クレイン）で開催する。  
11月30日 高規格救急自動車1台を国庫補助で購入。美川消防署に配置し、旧車を松任救急  
2号車とする。旧松任救急2号車を廃車

平成22年 3月30日 消防ポンプ自動車1台を国庫補助で購入。白山消防署に配置し、旧車を廃車  
3月31日 消防職員3名退職  
4月 1日 消防職員7名を採用し、総員194名となる。  
10月 5日 消防本部・松任消防署新庁舎が総工費30億3,000万円で完成し、竣工式を行う。  
白山石川広域消防本部防災学習センターを新庁舎に併設し、運用開始  
消防本部の組織機構の改正により、通信指令課（指令係）を新設し、指揮隊  
を廃止  
高機能消防指令システムを導入し、運用開始  
千代野救助工作車を松任消防署に配置し、松任救助工作車とする。  
11月25日 高規格救急自動車1台を購入。野々市消防署に配置し、旧車を廃車

平成23年 3月10日 予防査察車1台を購入。消防本部に配置し、旧車を廃車  
3月11日 東日本大震災に石川県緊急消防援助隊として、延べ40名を派遣  
3月31日 消防職員4名退職  
4月 1日 消防職員6名を採用し、総員196名となる。  
9月 1日 連絡車を野々市消防署に配置し、旧車を廃車

- 11月11日 当組合加入市町の石川郡野々市町が野々市市へ市制移行したことに伴い、名称を「白山石川広域事務組合」から「白山野々市広域事務組合」に、同じく消防本部名を「白山石川広域消防本部」から「白山野々市広域消防本部」に改める。
- 11月25日 II型救助工作車を国庫補助で購入。白山消防署に配置し、旧車の山岳機材車を廃車

- 平成24年 3月10日 高規格救急自動車を県費補助で購入。千代野分署に配置し、救急業務を開始
- 3月31日 消防長 竹田由喜夫 白山市へ帰任  
消防職員2名退職
- 4月 1日 消防長 西田恵一 就任  
職員定数を改正し、210人となる。  
消防職員2名を採用し、総員195名となる。  
消防本部の組織機構の改正により、庶務課に企画係を、消防課に装備係を、通信指令課に情報係を置く。  
松任消防署及び白山消防署に救助係を置く。
- 4月26日 消防庁から指揮支援車が譲与され、消防本部に配置
- 10月23日 高規格救急自動車を購入。白山消防署に配置し、旧車を廃車
- 10月31日 消防職員1名退職
- 11月30日 消防音楽隊カラーガード隊を廃止

- 平成25年 3月31日 消防長 西田恵一 退任・退職  
消防職員5名退職
- 4月 1日 消防長 東 仁司 就任  
消防職員11名を採用し、総員199名となる。  
石川県消防防災航空隊に1名派遣
- 4月30日 消防職員2名退職
- 11月 2日 第54回石川県総合防災訓練が白山市で開催
- 11月12日 高規格救急自動車を購入。松任消防署に配置し、旧車を予備車、旧予備車を廃車

- 平成26年 3月28日 鶴来消防署新庁舎が総工費3億9,000万円で完成し、竣工式を行う。
- 3月31日 消防職員4名退職
- 4月 1日 消防職員10名を採用し、総員203名となる。
- 8月 1日 消防ポンプ自動車を購入。白山消防署に配置し、旧車を鶴来消防署に配置、  
旧鶴来消防署消防ポンプ自動車を予備車として消防本部に配置  
白山消防署配備の救助工作車を松任消防署に配置し、旧車を廃車

11月30日 消防音楽隊発足30周年記念演奏会を白山市鶴来総合文化会館（クレイン）で開催する。

12月 1日 白山消防署新庁舎が総工費4億5,000万円で完成し、竣工式を行う。

12月23日 美川消防署新庁舎が総工費4億9,000万円で完成し、竣工式を行う。

平成27年 2月12日 無線中継車1台を購入。消防本部に配置

3月 3日 連絡車を白山消防署に配置し、旧車を白峰分署に配置

3月18日 消防ポンプ自動車1台を購入。千代野分署に配置し、旧車を廃車

3月31日 消防長 東 仁司 退任・退職

消防職員3名退職

4月 1日 消防長 畑 昌幸 就任

消防職員4名を採用し、総員203名となる。

白山消防署の救助係を廃止

4月22日 白峰分署高規格救急車を廃車

4月30日 職員1名が退職し、総員202名となる。

8月 2日 野々市指令車を警防車として白峰分署に配置し、旧車を廃車

10月 1日 消防救急デジタル無線設備を総額7億9,000万円で整備し、運用開始

10月 9日 高規格救急車1台を購入。鶴来消防署に配置し、旧車を廃車

12月10日 高規格救急車1台を購入。白峰分署に配置

平成28年 3月18日 水難機材車1台を購入。松任消防署に配置し、旧車を廃車

3月31日 消防長 畑 昌幸 退任・退職

消防職員4名退職

4月 1日 消防長 畑 盛仁 就任

消防職員9名を採用し、総員206名となる。

石川県消防学校に1名派遣

12月14日 消防ポンプ自動車1台を購入。美川消防署に配置し、旧車を廃車

平成29年 3月31日 消防長 畑 盛仁 退任・退職

消防職員2名退職

4月 1日 消防長 増田 充 就任

職員定数を改正し、230人となる。

川北町が当組合に加入することに伴い、川北分署を設置し、松任消防署の分署とする。

消防職員13名を採用し、総員216名となる。

7月31日 消防職員1名退職

平成30年 1月11日 予備ポンプ自動車を廃車  
2月27日 機材車1台を購入。松任消防署に配置し、旧車を廃車  
3月 9日 水槽車1台を購入。松任消防署に配置し、化学車を廃車  
3月31日 消防長 増田 充 退任・退職  
消防職員5名退職  
4月 1日 消防長 嶋田 聰 就任  
消防職員8名を採用し、総員217名となる。  
石川県消防防災航空隊に1名派遣  
7月31日 消防職員1名退職  
12月26日 高規格救急車1台を購入。野々市消防署に配置し、旧車を予備車とし、旧予備車を廃車

平成31年 1月21日 指揮車1台を購入。消防本部に配置し、旧松任指令車を千代野警防車とし、  
旧警防車を廃車  
3月11日 化学車1台を購入。美川消防署に配置し、旧車を廃車  
3月31日 消防長 嶋田 聰 退任・退職  
消防職員2名退職  
4月 1日 消防長 藤田 武則 就任  
消防職員7名を採用し、退職者3名を再任用し、総員223名となる。  
令和元年 6月30日 消防職員1名退職  
8月31日 消防職員1名退職  
消防指令システムを総額7億4,500万円で更新整備し、運用開始  
12月15日 消防音楽隊発足35周年記念演奏会を白山市鶴来総合文化会館（クレイン）  
で開催する。

令和 2年 2月 6日 高規格救急車1台を購入。美川消防署に配置し、旧車を廃車  
2月13日 広報車1台を購入。美川消防署に配置し、旧警防車を廃車  
3月26日 水槽車1台を購入。野々市消防署に配置し、旧車を廃車  
3月31日 消防長 藤田 武則 退任・退職  
消防職員6名退職  
4月 1日 消防長 谷口 栄一 就任  
消防職員4名を採用し、退職者5名を再任用し、総員223名となる。

令和 3年 2月18日 高規格救急車1台を購入。千代野分署に配置し、旧車を廃車  
3月 1日 ポンプ車1台を購入。松任消防署に配置し、旧車を廃車  
3月 9日 警防車1台を購入。千代野分署に配置し、旧車を廃車

3月31日 消防長 谷口 栄一 退任・退職  
消防職員7名退職  
石川県消防防災航空隊から1名帰任

4月 1日 消防長 宮下 洋之 就任  
消防職員2名を採用し、退職者6名を再任用し、総員223名となる。  
石川県消防学校に1名派遣

# 消 防 組 織 編

## 組織及び施設



消防本部・松任消防署・防災学習センター

所在地 石川県白山市三浦町255番地1

敷地面積 11,089m<sup>2</sup>

延べ面積 6,356m<sup>2</sup> (他:訓練塔等1,015m<sup>2</sup>)

建築年月 平成22年10月



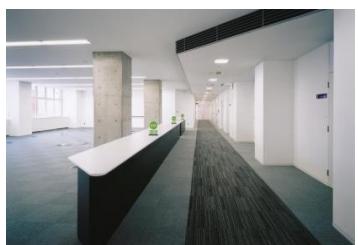
訓 練 棟



指 令 セ ナ タ ー



白 山 ホ ー ル



消 防 本 部



松 任 消 防 署



防 灾 学 習 セ ナ タ ー



### 松任消防署千代野分署

所在地 石川県白山市北安田町861番地1  
敷地面積 3,482m<sup>2</sup>  
延べ面積 432m<sup>2</sup>  
建築年月 昭和57年10月



### 松任消防署川北分署

所在地 石川県能美郡川北町字壱ツ屋174番地  
(川北町役場に併設)  
占有面積 333m<sup>2</sup>  
建築年月 昭和63年2月



### 野々市消防署

所在地 石川県野々市市本町五丁目83番地  
敷地面積 2,371m<sup>2</sup>  
延べ面積 818m<sup>2</sup> (他:訓練塔64m<sup>2</sup>)  
建築年月 平成12年3月



### 鶴来消防署

所在地 石川県白山市明島町山84番地1  
敷地面積 3,271m<sup>2</sup>  
延べ面積 920m<sup>2</sup>  
建築年月 平成26年3月



### 美川消防署

所在地 石川県白山市鹿島町140番地1  
敷地面積 2,837m<sup>2</sup>  
延べ面積 911m<sup>2</sup>  
建築年月 平成26年12月



### 白山消防署

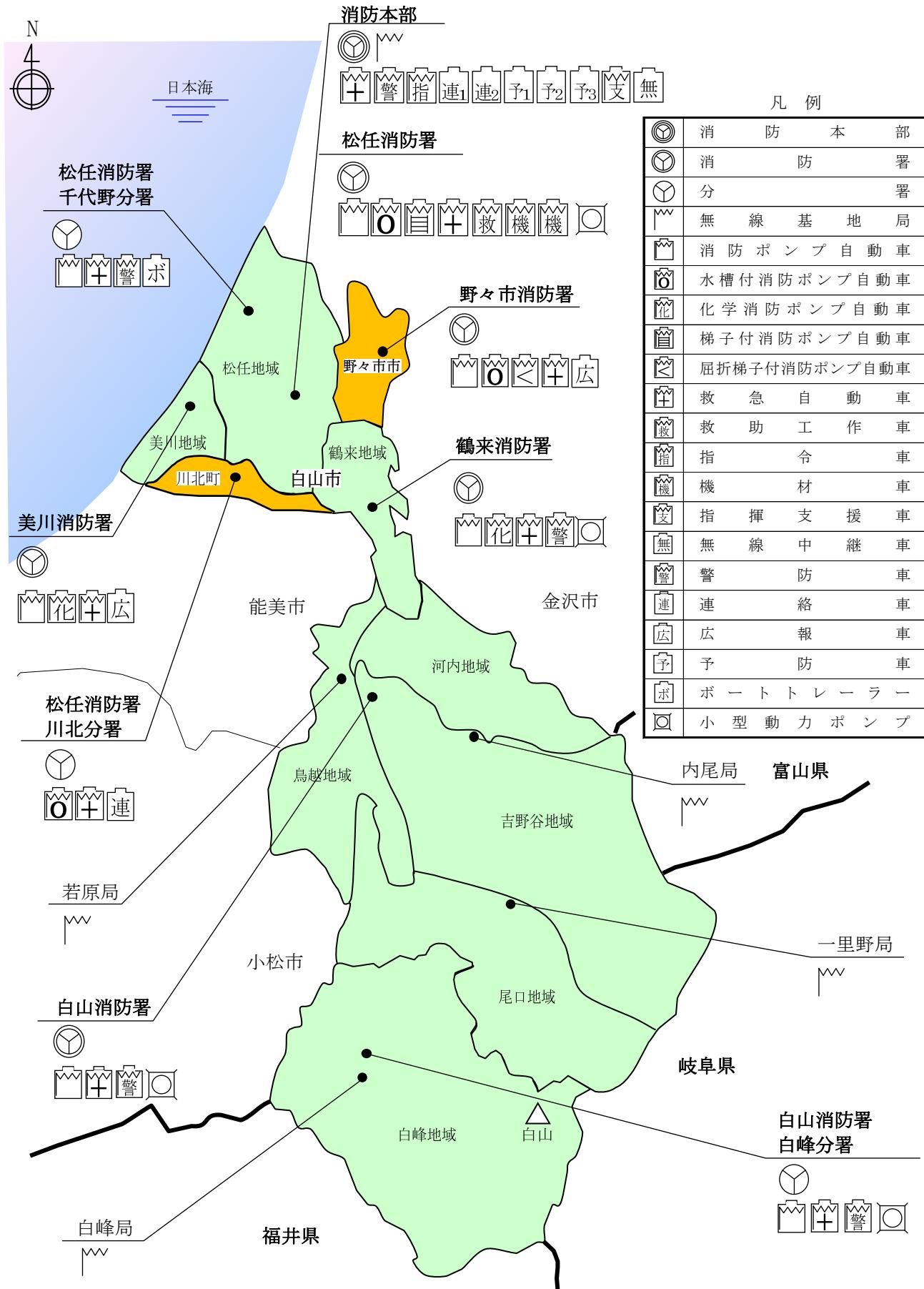
所在地 石川県白山市吉野夏111番地1  
敷地面積 2,711m<sup>2</sup>  
延べ面積 950m<sup>2</sup>  
建築年月 平成26年12月



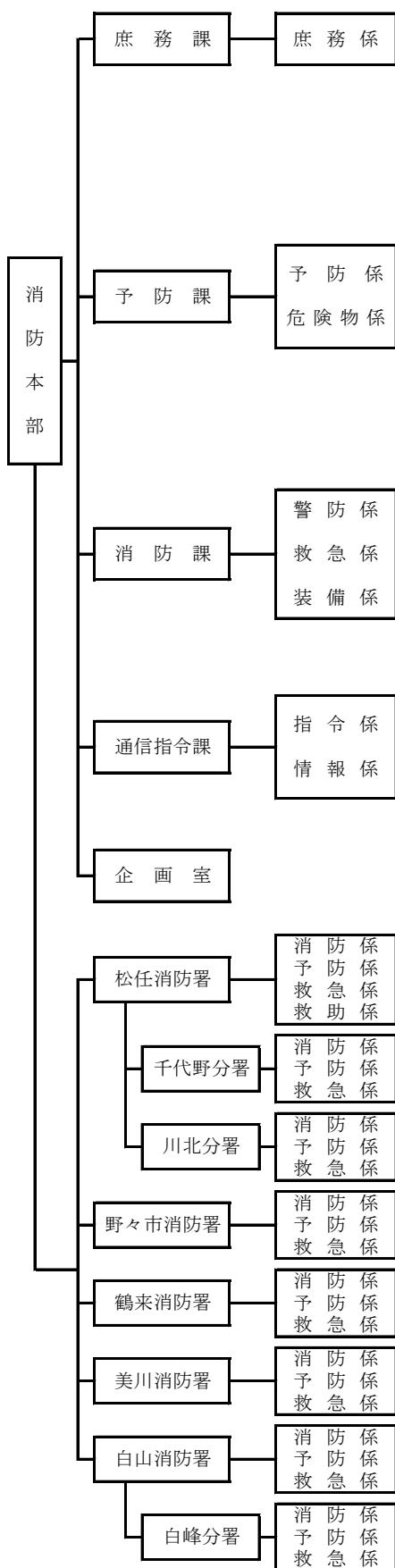
### 白山消防署白峰分署

所在地 石川県白山市白峰八103番地3  
敷地面積 573m<sup>2</sup>  
延べ面積 151m<sup>2</sup>  
建築年月 平成6年11月

## 組合消防概況図



# 組織機構図及び事務分掌



- 組織及び消防業務の調整に関すること。
  - 公印の保管に関すること。
  - 予算及び決算の総括並びに予算執行の調整に関すること。
  - 消防施設の整備計画及び維持管理に関すること。
  - 人事、服務、福利厚生及び消防職員委員会に関すること。
  - 職員の一般教養訓練に関すること。
  - 全国消防長会等との連絡調整に関すること。
  - 消防音楽隊に関すること。
  - 他の課に属さない事務に関すること。
- 火災予防の施策及び広報に関すること。
  - 予防事務担当職員の教育訓練及び資格取得に関すること。
  - 防火管理者講習に関すること。
  - 消防用設備等の設置及び指導並びに消防同意に関すること。
  - 危険物の規制に関すること。
  - 防火団体に関すること。
  - 液化石油ガス、火薬等に関すること。
  - 火薬類取締法の施行に関すること。
  - ガス事業法の施行に関すること。
  - 電気用品安全法の施行に関すること。
  - 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律の施行に関すること。

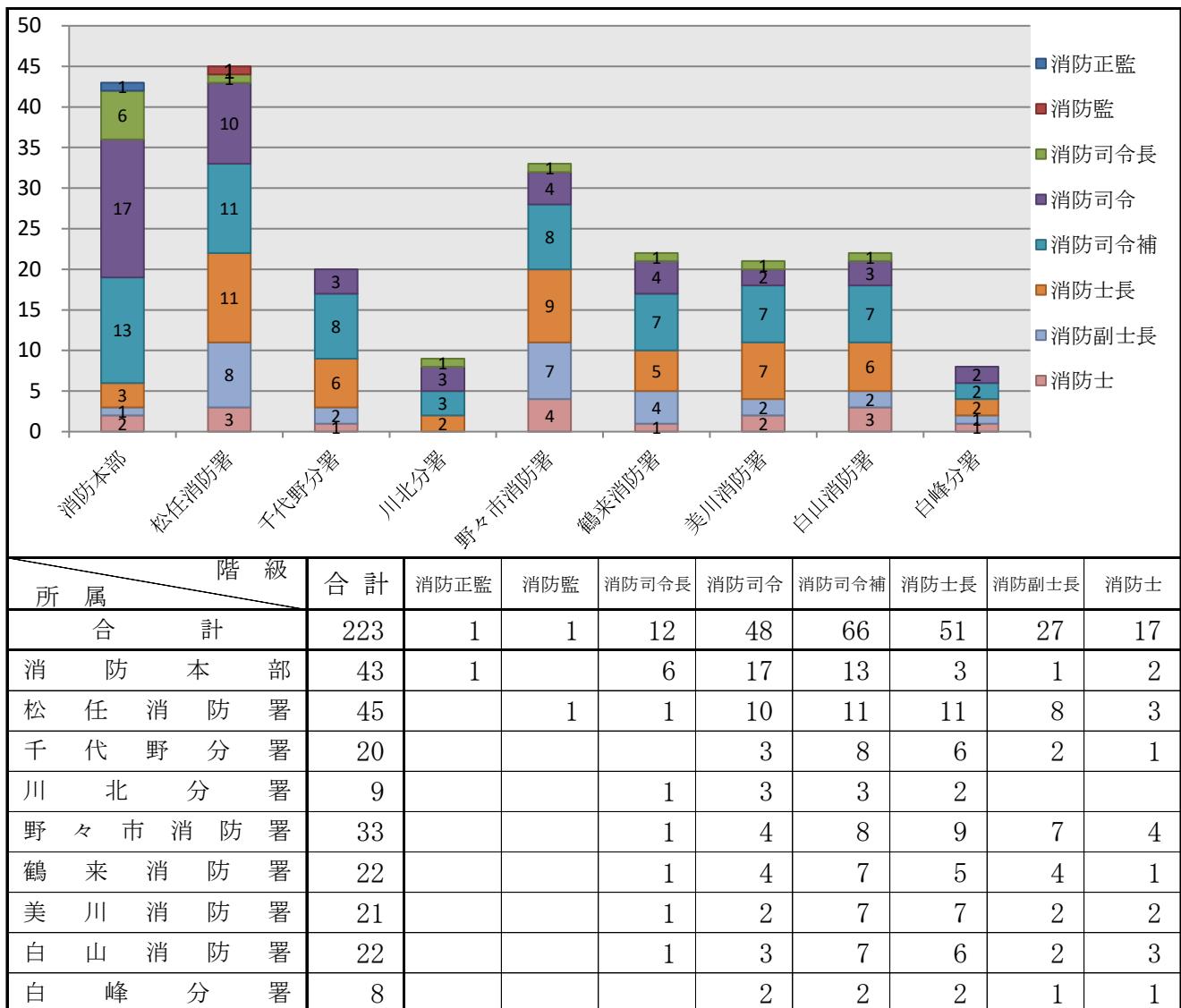
- 警防業務、救急救助業務等の施策に関すること。
- 施設、設備、機械器具、装備品等の整備及び運用に関すること。
- 隊員の教育訓練及び資格取得に関すること。
- 消防車両等の安全運転管理に関すること。
- 消防水利対策に係る指導及び関係市町との連絡調整に関すること。
- 消防本部の編成する隊の管理、活動対策等に関すること。
- 火災調査及び火災調査員への教育指導に関すること。
- 救急隊員の高度救命処置、教育実施等に関すること。

- 災害等の出動指令及び通信業務に関すること。
- 災害情報及び気象情報の収集及び提供に関すること。
- 火災警報及び火災注意報に関すること。
- 情報通信機器の整備保全に関すること。
- 消防情報通信の高度化に関する調査研究に関すること。
- 消防の情報セキュリティに関すること。

- 告示、訓令等に関すること。
- 事務事業の進行管理に関すること。

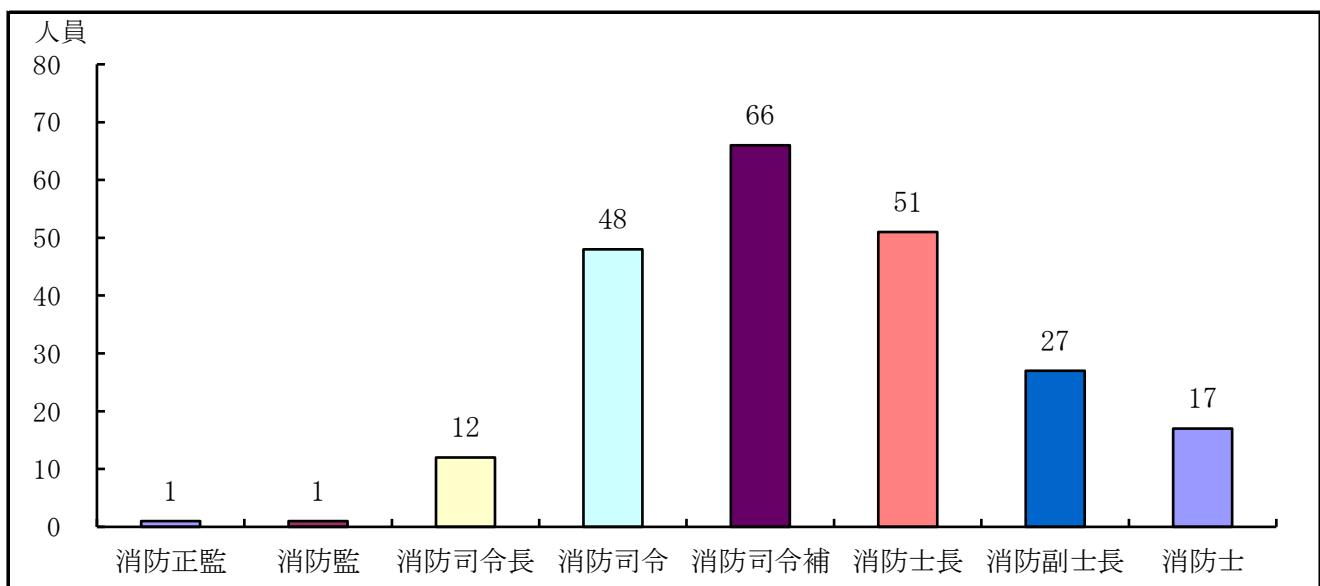
- 警防活動、救助活動等に関すること。
- 救急業務(応急手当普及啓発活動を含む。)に関すること。
- 火災の調査に関すること。
- 自主防災組織等の育成及び指導並びに住民への防火指導等に関すること。
- 住民への防火指導等に関すること。
- 火災予防に係る立入検査及び事業所への防火指導等に関すること。
- 広報及び広聴に関すること。
- 消防関係法令に基づく届出及び消防同意に関すること。
- 消防施設、消防機器等の維持管理に関すること。
- 学习センターの利用に関する事（松任消防署に限る。）。
- その他消防署の処務に関する事。

## 消防職員配置表

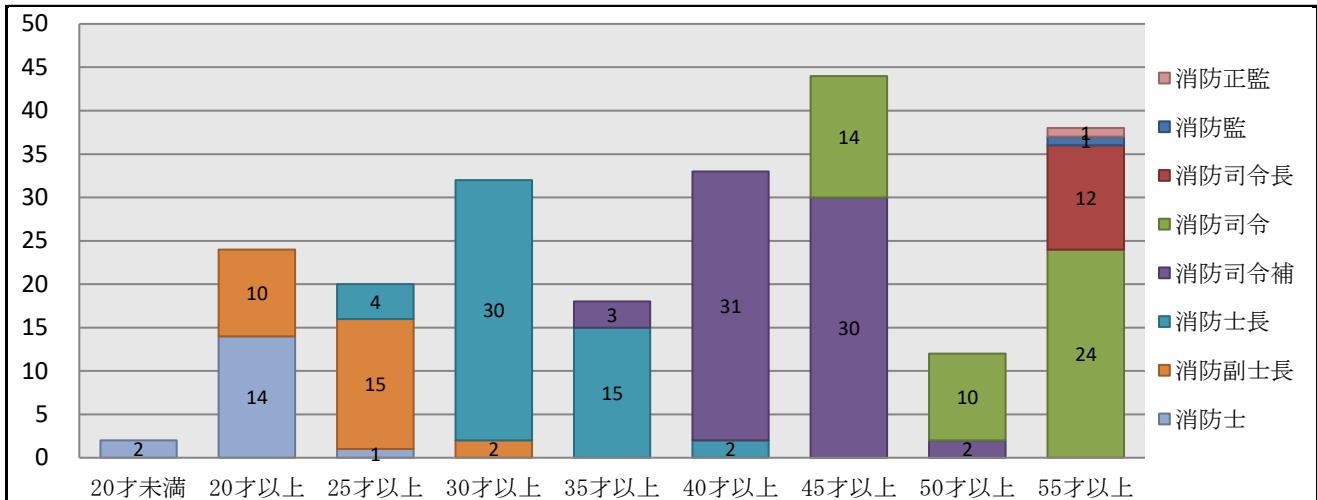


※ 職員定数（再任用短時間勤務職員以外の再任用職員を含む。） 230人

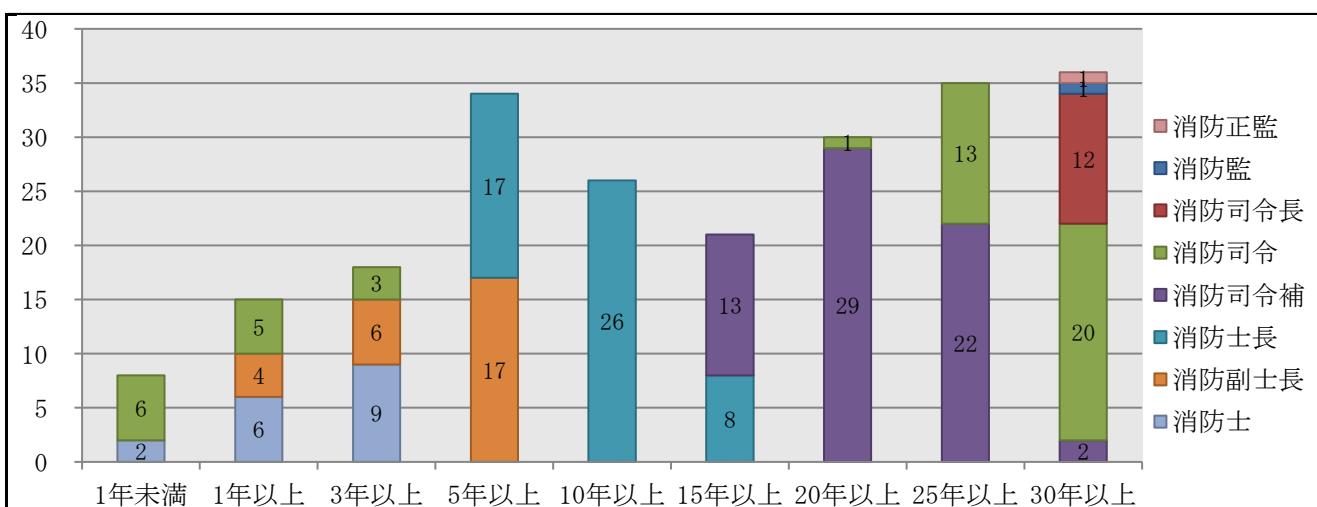
## 階級別職員数



## 年齢区分別職員数



## 勤続年数別職員数



## 消防職員の各種免許・資格取得状況

資 格 名		人 数	資 格 名		人 数	資 格 名		人 数
自動車運転免許	大 型	149	危険物取扱者	甲 種	2	予防技術資格者	查 察	27
	大 型 2 種	4		第 1 類	12		設 備	11
	中 型	24		第 2 類	13		危 険 物	8
	中型(8t限定)	21		第 3 類	14		防火対象物点検資格者	6
	中 型 2 種	3		第 4 類	158		防災管理点検資格者	3
	準 中 型	16		第 5 類	8		特 殊 無 線 技 士	第 1 級 陸 上 特
	普 通	13		第 6 類	11		第 2 級 陸 上 特	179
	小型船舶操縦士	1 級 3		丙 種	58		特 技 乙	41
		2 級 28	消防設備士	特 類	1			
救急救命士		55		第 1 類	5	アマチュア無線技士		
気管挿管認定		38		第 2 類	1	小型移動式クレーン		
薬剤投与認定		46		第 3 類	1	玉 掛		
二処置認定		46		第 4 類	11	ガス溶接技能		
救急課程修了 (含 I・II 課程)		196		第 5 類	1	酸素欠乏・硫化水素		
准看護師		1		第 1 類	3	アーケ溶接		
A E D 認定		166		第 4 類	15	潜 水 士		
救急関係資格	P C E C	57		第 5 類	1	潜水技術2級		
	I T L S	38		第 6 類	116	河川急流救助		
	A C L S	10		第 7 類	3	富山山岳遭難救助		
	I C L S	17		電気工事士	第 2 種 6	ロープレスキュー		
	M C L S	53		ボイラー技士	2 級 1	毒物劇物取扱者		
	J P T E C	113		衛生管理者	第 1 種 1	自動車整備士		
	B L S O	5			第 2 種 1	防 災 士		
						産業廃棄物監督責任者		

# 令和3年度白山野々市広域事務組合歳入歳出予算額（当初）

歳 入

(単位：千円)

款	項	金額
歳 入 合 計		4,406,694
1 分担金及び負担金		3,394,260
	1 負 担 金	3,394,260
2 使用料及び手数料		233,119
	1 使 用 料	4,297
	2 手 数 料	228,822
3 国 庫 支 出 金		0
	1 国 庫 补 助 金	0
4 県 支 出 金		0
	1 県 补 助 金	0
5 財 産 収 入		0
	1 財 産 運 用 収 入	0
	2 財 産 売 払 収 入	0
6 繰 入 金		0
	1 基 金 繰 入 金	0
7 繰 越 金		140,000
	1 繰 越 金	140,000
8 諸 収 入		176,715
	1 預 金 利 子	0
	2 受 託 事 業 収 入	3,751
	3 雑 入	172,964
9 組 合 債		462,600
	1 組 合 債	462,600

歳 出

(単位：千円)

款	項	金額
歳 出 合 計		4,406,694
1 議 会 費		1,583
	1 議 会 費	1,583
2 総 務 費		59,789
	1 組 合 管 理 費	59,789
	2 委 員 会 費	0
3 衛 生 費		1,227,606
	1 保 健 衛 生 費	51,886
	2 ご み 処 理 費	1,074,194
	3 し 尿 処 理 費	101,526
4 消 防 費		2,640,098
	1 消 防 費	2,640,098
5 公 債 費		475,118
	1 公 債 費	475,118
6 予 備 費		2,500
	1 予 備 費	2,500

## 歳入歳出予算額の構成

歳入額比率

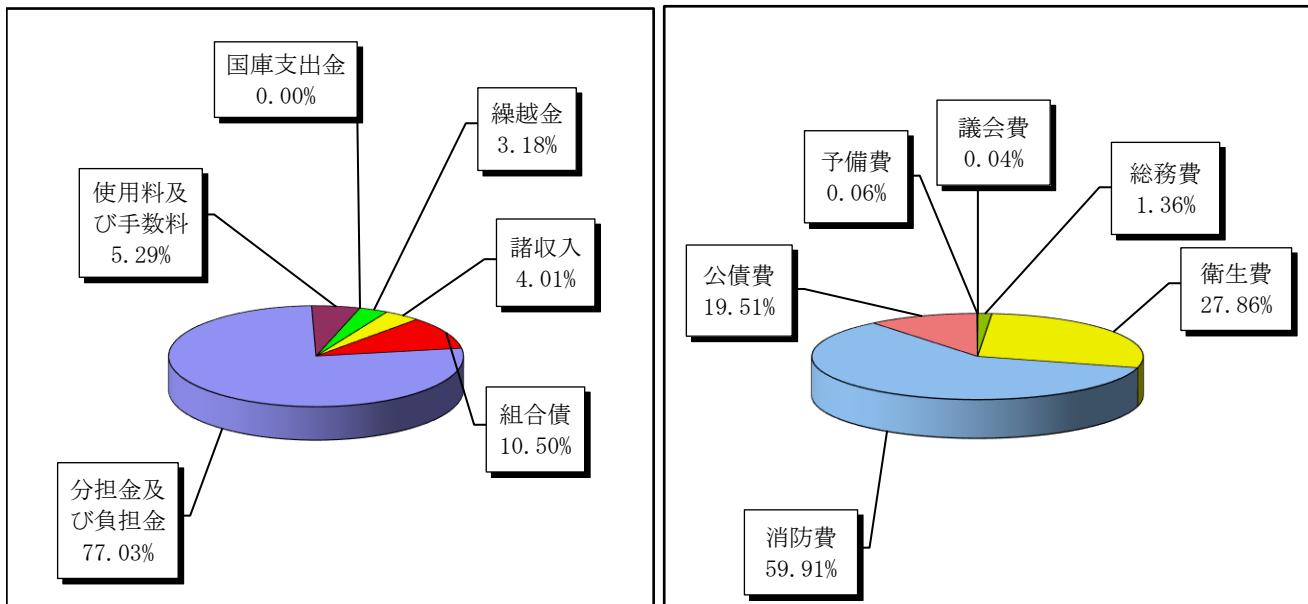
歳入額

37億486万2,000円

歳出額比率

歳出額

37億486万2,000円



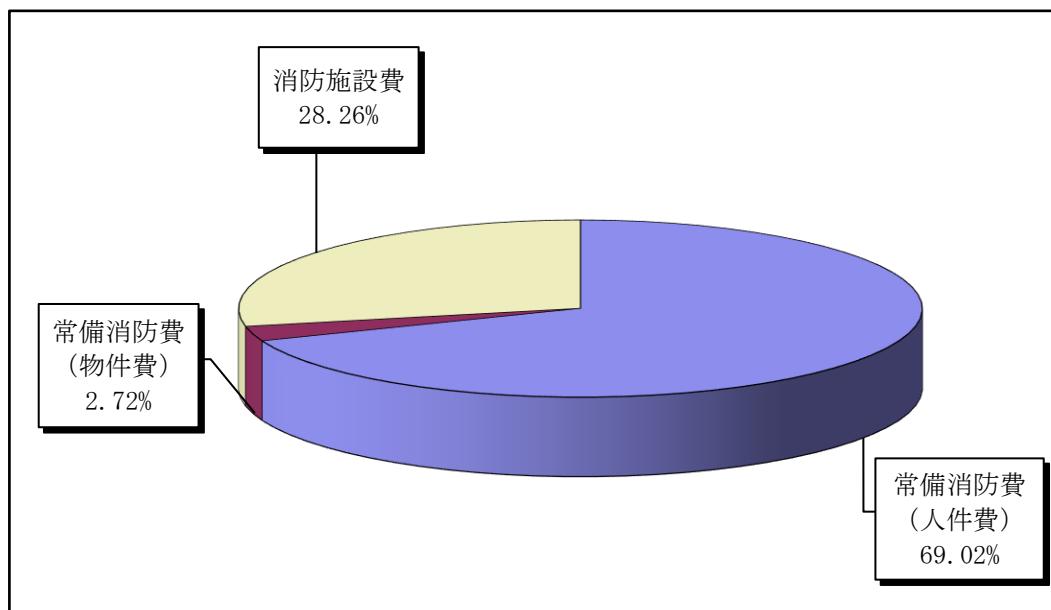
## 消防費予算性質別比較

(単位 : 千円)

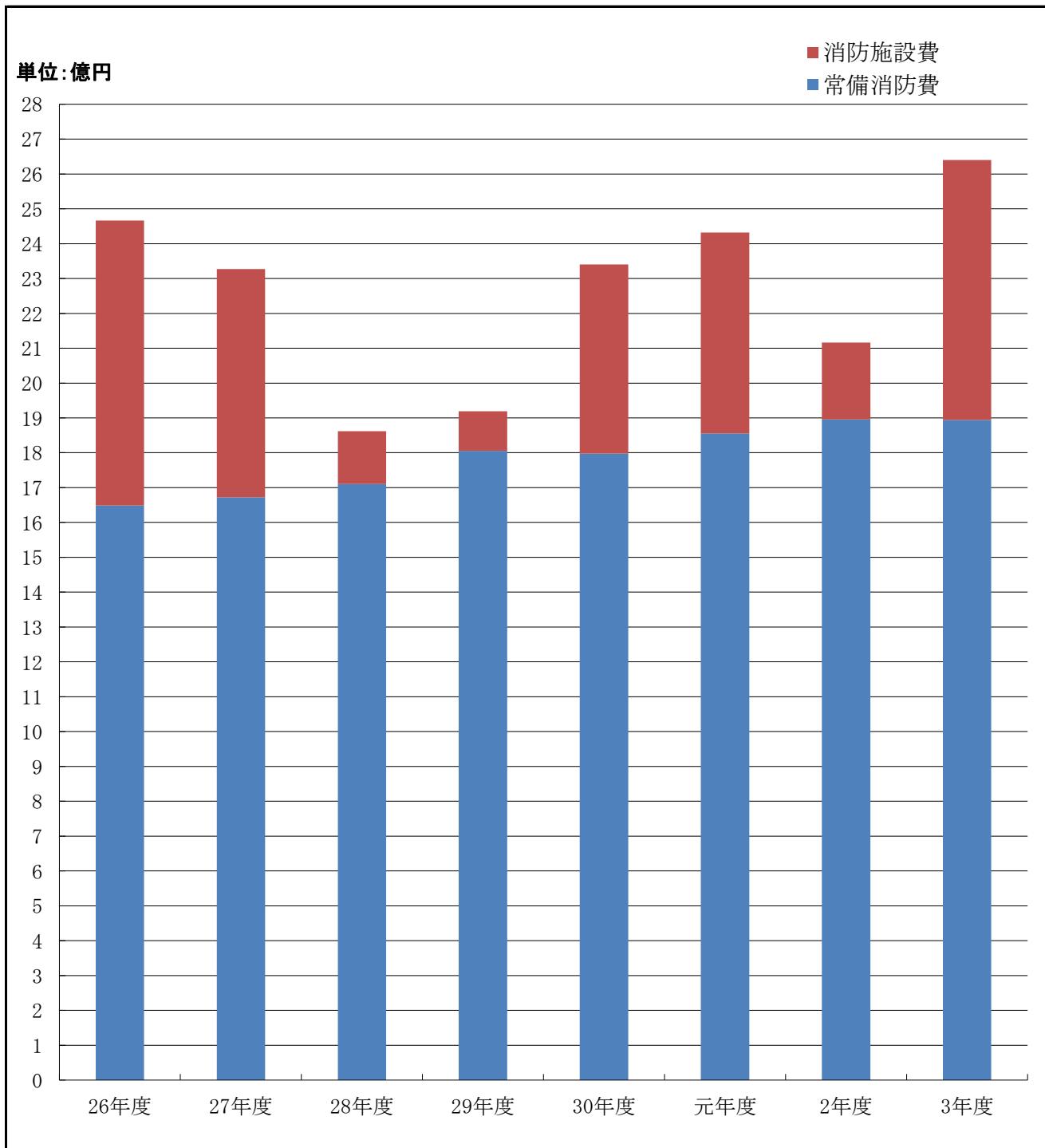
消 防 費	常 備 消 防 費		消 防 施 設 費
	人 件 費	物 件 費	
2,640,098	1,822,202	71,771	746,125

消防費

26億4,009万8,000円



## 消防費当初予算の推移



歳出予算の推移（当初）

(単位：千円)

年 度 歳出項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
消 防 費	2,466,171	2,327,043	1,862,255	1,918,831	2,340,534	2,432,275	2,115,878	2,640,098
常備消防費	1,649,000	1,672,459	1,709,969	1,805,618	1,797,207	1,855,129	1,895,803	1,893,973
消防施設費	817,171	654,584	152,286	113,213	543,327	577,146	220,075	746,125

# 消 防 施 設 編

## 車両配置状況

所属	車両名	車両種別	登録年月	車令 (年・月)	社名	ポンプ		緊急消防援助隊 (登録)
						メーカー	級別	
消防本部	予防1号車	予防査察車	H28.09	4.5	トヨタ			
	予防2号車	予防査察車	H17.12	15.3	三菱			
	予防3号車	防火指導車	H15.09	17.5	ダイハツ			
	本部連絡1号車	連絡車	H28.03	5.1	スズキ			
	本部連絡2号車	連絡車	H16.11	16.3	トヨタ			
	本部指揮車	指揮車	H30.12	2.3	トヨタ			都道府県大隊指揮隊
	本部指揮支援車	指揮支援車	H24.04	8.9	トヨタ			都道府県大隊指揮隊
	本部警防車	警防車	H18.09	14.5	トヨタ			
	無線中継車	無線中継車	H27.08	5.7	トヨタ			
	本部救急車	高規格救急車	H22.11	10.4	トヨタ			
松任消防署	松任1号車	CD-I型ポンプ車	R03.03	0.1	日野	モリタ	A2	
	松任タンク車	II型水槽付ポンプ車(水槽2,000ℓ)	H30.02	3.1	日野	長野ポンプ	A2	消火小隊
	松任梯子車	梯子付ポンプ車(35m)	H11.01	22.2	ニッサン・イーゼル	日本機械	A2	
	松任救急車	高規格救急車	H25.11	7.4	トヨタ			
	松任救助工作車	II型救助工作車	H23.11	9.4	日野			救助小隊
	松任機材車	資機材搬送車	H30.02	3.1	日野			後方支援小隊
	松任水難機材車	資機材搬送車	H28.03	5.0	日野			
千代野分署	千代野1号車	CD-I型ポンプ車	H27.03	6.1	日野	日本機械	A2	
	千代野救急車	高規格救急車	R03.02	0.1	トヨタ			
	千代野警防車	警防車	R03.03	0.1	トヨタ			
	ポートトレーラー	ポートトレーラー	H16.09	16.6	SOREX			
川北分署	川北タンク車	II型水槽付ポンプ車(水槽2,000ℓ)	H29.03	4.0	日野	モリタ	A2	消火小隊
	川北救急車	高規格救急車	H21.10	11.4	トヨタ			
	川北連絡車	連絡車	H12.05	20.8	ダイハツ			
野々市消防署	野々市1号車	CD-I型ポンプ車	H21.03	12.0	日野	日本機械	A2	
	野々市タンク車	II型水槽付ポンプ車(水槽2,000ℓ)	R02.03	1.0	日野	モリタ	A2	消火小隊
	野々市梯子車	屈折梯子付ポンプ車(25m)	H20.02	13.1	日野	モリタ	A2	特殊装備小隊
	野々市救急車	高規格救急車	H30.12	2.3	トヨタ			
	野々市広報車	広報車	H23.03	10.1	トヨタ			
鶴来消防署	鶴来1号車	CD-I型ポンプ車	H22.03	11.0	日野	日本機械	A2	消火小隊
	鶴来化学車	II型化学車(水槽2,000ℓ 薬槽500ℓ)	H17.12	15.3	日野	日本機械	A2	
	鶴来救急車	高規格救急車	H27.10	5.5	トヨタ			救急小隊
	鶴来警防車	警防車	H20.07	12.7	三菱			
美川消防署	美川1号車	CD-I型ポンプ車	H28.11	4.3	日野	長野ポンプ	A2	
	美川化学車	II型化学車(水槽1,500ℓ 薬槽500ℓ)	H31.03	2.1	日野	日本機械	A2	
	美川救急車	高規格救急車	R02.01	1.2	トヨタ			
	美川広報車	広報車	R02.01	1.2	日産			
白山消防署	白山1号車	CD-I型ポンプ車(救助仕様)	H26.07	6.7	日野	長野ポンプ	A2	
	白山救急車	高規格救急車	H24.10	8.5	トヨタ			
	白山警防車	警防車	H27.02	6.1	トヨタ			
白峰分署	白峰1号車	CD-I型ポンプ車	H15.01	18.2	トヨタ	日本機械	A2	
	白峰救急車	高規格救急車	H27.12	5.3	トヨタ			
	白峰警防車	警防車	H17.08	15.7	トヨタ			

## 資器材一覧表

### 警防用資器材

分類	品名	総数	本部	松任	千代野	川北	野々市	鶴来	米川	白山	白峰	特救隊	水難隊	山岳隊	化学隊
ホース及び放水関連器具	ホース	65mm	476		72	49	33	81	74	79	48	40			
		50mm	196		25	19	18	34	30	34	18	16	2		
	ホースカーボルト		10		2	1		2	2	2	1				
	ホース背負具				5			2		1			2		
	ホースバック				22		4	2	2	4	2	6	2		
	管そう	65mm	23		1	1	3	5	5	4	1	3			
		50mm	13			1	1	4	2	3	1	1			
	ダブルコントロール	29		8	2	3	6	2	5	2	1				
	フォグガン	3							2			1			
	プロジェクトガン	3							1		1	1			
	無反動ノズル	7					1	1	1	1	2	1			
	CAFSノズル	3		1				1	1						
	ケアドラノズル	8		1	1	1	1		3			1			
	発泡ノズル	エアフォームノズル等	8				1	1	2	2	1	1			
	小型動力ポンプ		4		1				1		1	1			
火林 災野	ウォーターチャージャー		3						2		1				
	背負式ポンプ	ジェットシャーター	52		6	2	2	6	12	5	15	4			
	簡易水槽		9		1	1		1	3	1	1	1			
薬消 剤火 (0)	水溶性液体用	メガフォーム	2,120	580		180			660	500	100	100			
	水成膜	サーフウォーター	2,560	700	100		100	1,360		300					
	界面活性泡			520				520							
油理 処剤	界面活性泡 (A火災用)	ミラクルフォームα	490	340	60			50	40						
	油吸着シート (枚)	シートタイプ	417	183	33	27	7	26	32	22	17	50	20		
その 他	油処理剤 (袋)	粒子		29											29
	AED			6		1	1		1	1	1	1			
	消防車EMセット		7		1	1		1	1	2	1				

### 救急用資器材

観察	血中酸素飽和度測定器		9	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
	血糖値測定器		3		1				1			1			
			9	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
	患者監視装置	プロパック	1				1								
		ダッシュ/ライフスコープ	8	1	1	1		1	1	1	1	1			
呼吸・循環管理	自動式人工呼吸器	パラパック	2				1				1				
		アンサー	7	1	1	1		1	1	1		1			
	携帯酸素吸入器		13	1	1	2	2	1	1	2	1	2			
	自動式吸引器		9	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
	呼気二酸化炭素検知器		7	1	1	1	1		1		1	1			
	除細動器	MRX/ZOLL	9	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
	呼吸管理資器材	一式	11	1	1	2	2	1	1	1	1	1			
	酸素ボンベ	10ℓ	36	15	2	2	2	4	3	3	2	3			
		2.0ℓ	66	35	3	3	3	7	4	3	4	4			
保創 護傷	陰圧式固定具	バキュームプリント等	9	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
	外傷処置資器材	一式	9	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
保温・搬送	ストレッチャー	メイン	9	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
		エアー	16	2	1	2	1	2	2	3	1	2			
		スクープ	9	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
	固定用担架	バックボード	20	1	2	2	2	2	3	2	3	2	1		
		ショートボード	8		1	1	1	1	1	1	1	1			
通信	携帯電話		8		1	1	1	1	1	1	1	1			
その他	救急救命士特定行為資器材	一式	9	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
	在宅医療継続用資器材	一式	5		1	1		1		1		1			

## 資器材一覧表

### 救助用資器材

分類	品 名	総 数	本 部	松 任	千 代 野	川 北	野 々 市	鶴 来	美 川	白 山	白 峰	特 救 隊	水 難 隊	山 岳 隊	化 学 隊
一般救助	かぎ付はしご	4		1			1				1	1			
	三連はしご	14		2	1	1	3	2	2	1	1	1			
	救命索発射銃	火薬式・空気式	2									2			
	平担架		2		1							1			
排除重量物	油圧ジャッキ	ラムシリンダー	1									1			
	可搬ワインチ	TU-16	7	1					1	1	1	1	1		1
	マット型空気ジャッキ		1									1			
	大型油圧スプレッダー	油圧スプレッダー	2								1	1			
切断	油圧切断機	コンビツール	2									1	1		
	エンジンカッター		1									1			
	チェーンソー		3						1		1		1		
	大型油圧切断機	カッター	2								1	1			
破壊	破壊用工具	万能斧等	41	3	5	3	2	7	5	7	4	3	2		
	携帶用コンクリート破壊器具				1							1			
測検定知	複合ガス測定器	可燃性・毒性	3	1									2		
	放射線測定器	個人線量計を除く	3	2									1		
呼吸保護	空気呼吸器	ポンベ含む	49	3	9	3	4	7	6	7	3	3	4		
	空気ポンベ(予備)	一般複合容器	122	47	8	3	4	16	9	14	4	7	10		
	酸素呼吸器		5										5		
	酸素ポンベ(予備)	2.0ℓ	1		1										
隊員保護	耐電用防護服	耐電衣・ズボン・長靴	4		2								2		
	化学防護服	陽圧式を除く	141			4	3	10	23	12	42	6	6		35
	陽圧式化学防護服		10									5		5	
	耐熱服		8		2				2	2					2
検索	簡易画像探索器	プロカム	1									1			
	熱画像直視装置	アルゴス	1									1			
	夜間暗視装置	ナイトビュア	1									1			
水難救助	ウエットスーツ	一式	14										14		
	BCジャケット	一式	8										8		
	ドライスーツ	一式	6										6		
	フルフェイスマスク	一式	6										6		
	潜水ポンベ		16										16		
	救命胴衣		80	7	7	6	4	9	8	9	12	3	5	10	
	水中投光器		5										5		
	救命浮環・浮標		44		2	1	3	1	2	6	7	3	1	18	
	救命ボート		1										1		
	船外機		2										2		
救山助岳	登山器具	一式	15										15		
	バスケットストレッチャー		8		1	1		1	1	1	1		1	1	
	スケッドストレッチャー		2										2		
その他	油圧発生装置	パワーユニット	3								1	1	1		
	投光器	一式	20	5	3	1	1	4	2	2	1	1			
	発電機	可搬式	21	3	2	1	1	3	4	2	3	1	1		
	携帯拡声器		36	5	6	2	2	4	5	4	3	2	2	1	
	除染シャワーテント		2												2
	高圧空気充填機	空気呼吸器用	1		1										

その他主な救助資機材

空気式救助マット、救助用支柱器具、ガス溶断器、空気切断機、コンクリート鉄筋切断用チェーンソー、削岩機、送排風機、エアラインマスク、画像探索機（ファイバースコープ）、地中音響探知機

## 高機能消防指令センターの機能



## 無線局設置状況

署別 種別		合計	消防本部	松任消防署	千代野分署	川北分署	野々市消防署	鶴来消防署	美川消防署	白山消防署	白峰分署
無線局	合計	180	42	40	10	9	24	14	14	16	11
消防無線	基地局	5	5								
	陸上移動局(車載)	41	7	9	3	2	6	4	4	3	3
	陸上移動局(携帯)	34	6	8	2	2	5	3	3	3	2
	陸上移動局(可搬型)	4	2							1	1
	陸上移動局(卓上型)	8		1	1	1	1	1	1	1	1
	陸上移動局(署活)	80	14	22	4	4	12	6	6	8	4
	陸上移動局(防災相互)	7	7								
地球局(県防災無線)		1	1								
受令機	消防無線用	11	2	2	1	1	1	1	1	1	1

## 通信施設設置状況

署別 種別		合計	消防本部	松任消防署	千代野分署	川北分署	野々市消防署	鶴来消防署	美川消防署	白山消防署	白峰分署
119回線	固定 119番	4	4								
	携帯 119回線	2	2								
	携帯 119転送発信	1	1								
	携帯 119転送受信	1	1								
	加入回線(指令台発信用)	1	1								
	メール 119受信	1	1								
	N e t 119受信	1	1								
119回線(非常用衛星経由)		7	1			1	1	1	1	1	1
指令令回線		8	1		1	1	1	1	1	1	1
位置情報	IP-VPN	2	2								
	専用線	2	2								
出場車両管理	親局	1	1								
	AVM	36	6	8	3	2	4	4	3	3	3
白山市直通電話		1	1								
野々市市直通電話		1					1				
石川県土木総合事務所連絡用		2								1	1
警察署直通電話		1	1								
高速道路直通電話		1	1								
住民案内加入回線		4	4								
順次指令加入電話		5	5								
石川県総合防災情報		1	1								
消防団FAX指令		1	1								
消防O A用回線		8	1		1	1	1	1	1	1	1
職員・団指令メール		1	1								
現場映像受信		1	1								
事務用電話回線	I N S	15	8		1	1	1	1	1	1	1
	アナログ	1	1								
移動(携帯)電話		20	2	3	2	2	3	2	2	2	2
移動(衛星)電話		2								1	1

# 予 防 編

## 火災予防運動

火災の起こりやすい時季に火災予防運動を展開することで、地域住民により一層の防火を呼びかけ、火災発生の防止に努めている。

### 令和3年度中の主な火災予防運動

- 危険物安全週間 6月6日～6月12日
- 防災週間 8月30日～9月5日
- 119番の日 11月9日
- 秋の火災予防運動 11月9日～11月15日
- 年末特別火災予防運動 12月27日～12月31日
- 文化財防火デー 1月26日
- 春の火災予防運動 3月20日～3月26日
- 山火事予防運動 3月20日～3月26日
- 車両火災予防運動 3月20日～3月26日

### 令和3年度 全国統一防火標語

『 おうち時間 家族で点検 火の始末 』

### 令和3年度 危険物安全週間推進標語

『 事故ゼロへ トライ重ねる ワンチーム 』

## 防火・防災組織の現況

### ◇ 消防クラブ(幼年・子ども・女性)の活動

幼年消防クラブ及び子ども消防クラブは、幼・少年期に防火に関する知識を養うことを目的に結成され、その活動は、地域の火災予防思想の普及にも貢献している。

女性防火クラブは、家庭で火気を取り扱う機会の多い女性が、その活動をとおして、火災予防や初期消火・通報・避難方法等について会得し、また地域の協力体制と連帶意識の強化を図ることにより、家庭での火災を予防するとともに、平和で安全な地域社会づくりを目指して活動している。

### ◇ 白山野々市防火安全協会

白山野々市防火安全協会は、事業所相互が連携することで、一層の防火管理の徹底を図ることを目的に設立された組織で、各種事業を通じて、事業所はもとより地域社会の防火安全にも貢献している。

### ◇ 消防クラブ数

区分 署・分署	幼年消防クラブ		子ども消防クラブ		女性防火クラブ	
	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数
合 計	58	4,818	54	1,399	6	89
	37	4,051	50	939	4	31
白 山 市	松任消防署	14	2,020	18	387	
	千代野分署	8	508	7	152	4
	鶴来消防署	8	1,039	9	137	
	美川消防署	3	384	14	256	
	白山消防署	3	91	2	7	
	白峰分署	1	9			
野 々 市 市	野々市消防署	18	521	1	21	2
川 北 町	川北分署	3	246	3	439	

白山野々市防火安全協会会員事業所数	100
-------------------	-----

## 中高層建築物の現況

### 用途別

防 火 対 象 物 の 区 分			合計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階以上
合 計			1,212	840	209	77	48	21	10	3	4
(一)	イ	劇場・映画館・演芸場又は観覧場	1		1						
	ロ	公会堂又は集会場	4	2		2					
(二)	イ	キャバレー・カเฟー・ナイトクラブ類									
	ロ	遊技場又はダンスホール	2			1	1				
	ハ	風俗関連特殊営業店舗等									
	ニ	カラオケボックス等									
(三)	イ	待合・料理店類									
	ロ	飲食店	6	4	1	1					
(四)	百貨店・マーケット・店舗又は展示場		17	15	2						
(五)	イ	旅館・ホテル又は宿泊所	26	13	3	3	4	1	1	1	
	ロ	寄宿舎・下宿又は共同住宅	555	380	92	42	20	12	5	2	2 (11・12F)
(六)	イ	病院・診療所又は助産所	20	13	4	2		1			
	ロ	養護老人ホーム等	27	16	8		3				
	ハ	老人福祉センター・保育所等	6	2	3	1					
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	2	2							
(七)	小学校・中学校・高等学校・各種学校類		63	28	28	5	1				1 (12F)
(八)	図書館・博物館・美術館類										
(九)	イ	蒸気浴場・熱気浴場類									
	ロ	イ以外の公衆浴場	1	1							
(十)	車両の停車場										
(十一)	神社・寺院・教会類		3	3							
(十二)	イ	工場又は作業場	108	75	19	7	2	1	3		1
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ									
(十三)	イ	自動車車庫又は駐車場									
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫									
(十四)	倉庫		33	25	6	1		1			
(十五)	前各項に該当しない事業場		139	106	21	7	4	1			
(十六)	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	120	87	16	2	10	4	1		
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	77	66	5	3	3				
(十七)	重要文化財		2	2							

### 署・分署別

区 分			合計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階以上
合 計			1,212	840	209	77	48	21	10	3	4
白 山 市	松 任 消 防 署	580	415	99	30	17	11	5	2	1	
	千 代 野 分 署	336	236	60	16	12	9	1	2		
	鶴 来 消 防 署	86	65	15	4	1		1			
	美 川 消 防 署	66	45	9	4	3	2	2		1	
	白 山 消 防 署	43	33	8	1			1			
	白 峰 分 署	32	24	6	2						
野々市市	野々市消防署	17	12	1	3	1					
川 北 町	川 北 分 署	607	414	99	44	31	10	5	1	3 (11・12F)	

# 年 度 統 計

## 広報活動及び防火指導

さまざまな機会を捉え広報活動や防火指導を行い、地域住民の防火への関心が一層深まるように努めている。

住宅用火災警報器の普及とともに住宅火災の死者は減少傾向にあるが、さらなる設置徹底及び維持管理のための各種取組を展開している。

署・分署 区分	合 計	白山市						野々市市	川北町	
		松任消防署	千代野分署	鶴来消防署	美川消防署	白山消防署	白峰分署			
街頭広報	306	207	11	55	40	55	19	27	76	23
放送広報	72	49	10		6	24	5	4	12	11
紙面広報	11	2		1		1				9
対象物防火指導	33	18	2	2	2	10	1	1	15	
対象物訓練指導	79	39	10	3	9	15	2		32	8
地域防火指導	13	6	2	4					1	6
地域訓練指導	2	2		1		1				
一般家庭防火指導	40	40				40				

## 防火対象物の数

(150m<sup>2</sup>以上)

署・分署 防火対象物の区分		合 計	白山市						野々市市	川北町
			松任消防署	千代野分署	鶴来消防署	美川消防署	白山消防署	白峰分署	野々市消防署	川北分署
<b>合 計</b>		<b>7,176</b>	<b>4,208</b>	<b>2,163</b>	<b>613</b>	<b>650</b>	<b>421</b>	<b>262</b>	<b>99</b>	<b>2,697</b>
(一)	イ 創劇場・映画館・演芸場又は観覧場	8	8	2		5	1			
	ロ 公会堂又は集会場	106	70	23	13	16	11	6	1	21
(二)	イ キャバレー・カフェ・ナイトクラブ類									
	ロ 遊技場又はダンスホール	17	7	5		2				10
	ハ 風俗関連特殊営業店舗等									
	ニ カラオケボックス等	2	1	1						1
(三)	イ 待合・料理店類	8	7	4		1	2			1
	ロ 飲食店	144	76	45	8	5	5	11	2	68
(四)	百貨店・マーケット・店舗又は展示場	338	156	87	18	33	13	5		177
(五)	イ 旅館・ホテル又は宿泊所	99	96	15	1	14	5	39	22	3
	ロ 寄宿舎・下宿又は共同住宅	1,931	573	355	143	42	16	10	7	1,348
(六)	イ 病院・診療所又は助産所	101	54	28	12	5	8	1		45
	ロ 養護老人ホーム等	74	49	15	15	7	4	7	1	24
	ハ 老人福祉センター・保育所等	128	85	39	16	14	12	4		39
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	12	6	2	2	2				6
(七)	小学校・中学校・高等学校・各種学校類	142	89	47	16	8	4	12	2	49
(八)	図書館・博物館・美術館類	29	25	5		4	3	7	6	4
(九)	イ 蒸気浴場・熱気浴場類	1								1
	ロ イ以外の公衆浴場	11	9		3			5	1	2
(十)	車両の停車場	3	2	1		1				1
(十一)	神社・寺院・教会類	85	60	12	20	12	9	3	4	15
(十二)	イ 工場又は作業場	1,357	1,105	646	134	168	128	21	8	167
	ロ 映画スタジオ又はテレビスタジオ	1	1	1						
(十三)	イ 自動車車庫又は駐車場	68	53	30	4	10	4	4	1	11
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫									4
(十四)	倉庫	767	541	297	65	88	71	14	6	160
(十五)	前各項に該当しない事業場	1,109	776	339	106	147	79	84	21	290
(十六)	イ 特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	394	219	108	16	39	29	17	10	162
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	227	128	54	21	25	16	11	1	91
(十七)	重要文化財	14	12	2		2	1	1	6	2

※朱書きで示したところが訂正した箇所です。

## 予防査察の数

(延回数)

署・分署 防火対象物の区分		合 計	白山市						野々市市	川北町	
			松任消防署	千代野分署	鶴来消防署	美川消防署	白山消防署	白峰分署	野々市消防署	川北分署	
<b>合 計</b>		670	466	174	48	105	94	22	23	164	40
(一) イ	劇場・映画館・演芸場又は観覧場	1	1				1				
	公会堂又は集会場	22	12		1	10		1		6	4
(二)	イ キャバレー・カフェー・ナイトクラブ類										
	ロ 遊技場又はダンスホール	7	4	2		2				3	
	ハ 風俗関連特殊営業店舗等										
	ニ カラオケボックス等										
(三)	イ 待合・料理店類	4	4	2			2				
	ロ 飲食店	27	24	16	4		4			3	
(四) 百貨店・マーケット・店舗又は展示場		83	65	31	8	20	6			18	
(五)	イ 旅館・ホテル又は宿泊所	42	42	1		6	7	13	15		
	ロ 寄宿舎・下宿又は共同住宅	38	8	7					1	30	
(六)	イ 病院・診療所又は助産所	9	3	2	1					6	
	ロ 養護老人ホーム等	9	4	1	1			2		5	
	ハ 老人福祉センター・保育所等	16	10	5	3	1	1			6	
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	1								1	
(七) 小学校・中学校・高等学校・各種学校類		2	2	1		1					
(八) 図書館・博物館・美術館類		4	3				3			1	
(九)	イ 蒸気浴場・熱気浴場類										
	ロ イ以外の公衆浴場										
(十) 車両の停車場											
(十一) 神社・寺院・教会類		32	28	10	3	6	9			1	3
(十二)	イ 工場又は作業場	94	80	42	17	5	10	4	2	7	7
	ロ 映画スタジオ又はテレビスタジオ										
(十三)	イ 自動車車庫又は駐車場	5	3	1		2				1	1
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫										
(十四) 倉庫		66	41	19	1	4	17			8	17
(十五) 前各項に該当しない事業場		106	80	17	5	34	19	2	3	23	3
(十六)	イ 特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	76	34	12	3	5	12		2	37	5
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	21	15	5	1	7	2			6	
(十七) 重要文化財		5	3			2	1			2	

## 建築同意事務処理状況

建築物の新築や増改築等を行う場合は、建築基準法により消防長等の「同意」が必要である。

この制度は、防火の専門的な立場である消防機関が、建築物の防火に関する法令の規定を踏まえ、建築物の火災予防について設計の段階から関与し、建築物の安全性を高めることを目的としている。

署・分署 防火対象物の区分		合 計	白山市							野々市市	川北町
			松任消防署	千代野消防署	鶴来消防署	美川消防署	白山消防署	白峰分署		野々市消防署	川北分署
合 計		237	146	87	31	11	16	1		82	9
(一) イ	劇場・映画館・演芸場又は観覧場										
ロ	公会堂又は集会場	1								1	
(二) イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ類										
ロ	遊技場又はダンスホール	1	1	1							
ハ	風俗関連特殊営業店舗等										
ニ	カラオケボックス等										
(三) イ	待合・料理店類										
ロ	飲食店	5	5		5						
(四)	百貨店・マーケット・店舗又は展示場	19	7	4	3					11	1
(五) イ	旅館・ホテル又は宿泊所	3	3				3				
ロ	寄宿舎・下宿又は共同住宅	38	10	9	1					28	
(六) イ	病院・診療所又は助産所	8	1		1					7	
ロ	養護老人ホーム等	6	5	2		1	1	1		1	
ハ	老人福祉センター・保育所等	5	4	1	1	1	1			1	
ニ	幼稚園又は特別支援学校										
(七)	小学校・中学校・高等学校・各種学校類	2	2	2							
(八)	図書館・博物館・美術館類										
(九) イ	蒸気浴場・熱気浴場類										
ロ	イ以外の公衆浴場										
(十)	車両の停車場										
(十一)	神社・寺院・教会類										
(十二) イ	工場又は作業場	26	20	10	3	4	3			3	3
ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ										
(十三) イ	自動車車庫又は駐車場	3	1	1						1	1
ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫										
(十四)	倉庫	23	16	7	3	2	4			4	3
(十五)	前各項に該当しない事業場	16	11	6	3	2				5	
(十六) イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	8	6	5			1			2	
ロ	イ以外の複合用途防火対象物	5	4	1	1	1	1			1	
(十七)	重要文化財										
その他		68	50	38	10		2			17	1
計画通知		16	11	5	4	2				4	1
確認通知		760	503	217	98	151	37			232	25

# 防火管理

消防法では、多数の人を収容する防火対象物の管理について権原を有する者に対して、防火管理者を選任し、その防火管理者に消防計画を作成させ、防火管理上必要な業務を行わせることを義務付けている。

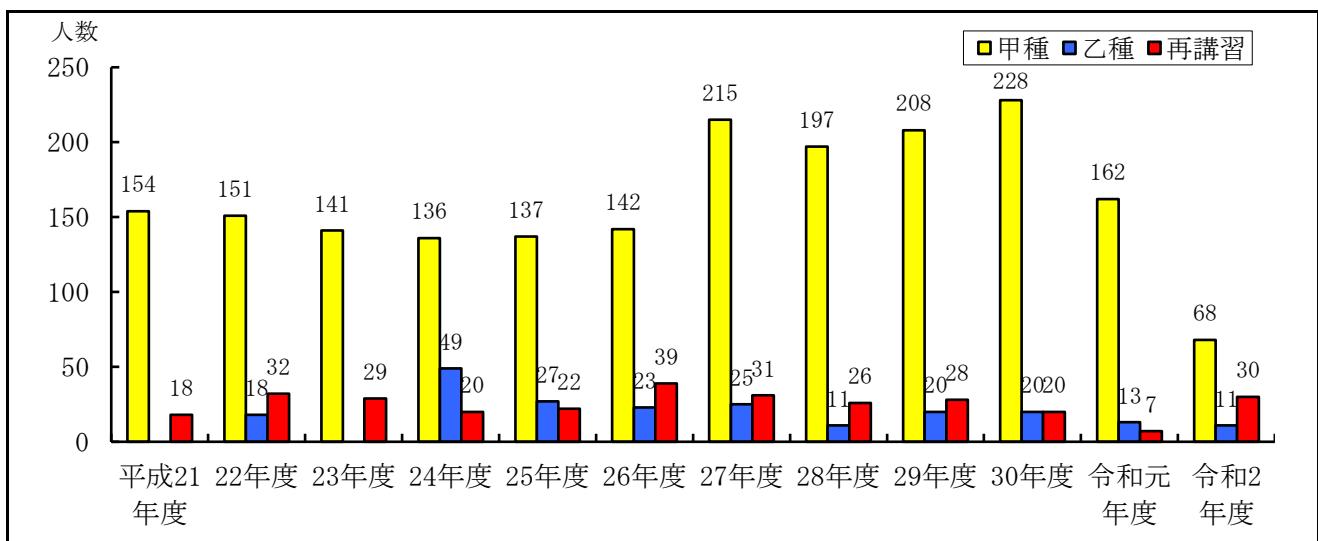
防火管理者については、消防法で定める一定の資格を有しなければならないため、当消防本部では、この資格付与のための講習会を年1回以上開催している。

なお、防火管理者の資格については、防火対象物の用途や規模等に応じ「甲種」と「乙種」に区別されている。

また、特定防火対象物で収容人員が300人以上のものの防火管理者を対象に「再講習」を実施している。



## 受講状況



## 防火管理状況（防火管理者及び消防計画を要する防火対象物）

項目	防火対象物の区分	合 計	届 出 率	(一)	(二)	(三)	(四)	(五)		(六)			(七)	(八)	(九)		(十一)	(十四)	(十五)	(十六)	(十七)							
				イ	ロ	イ		イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ		イ	ロ												
				劇場・映画館・観覧場	公会堂・集会場	遊技場・ダンスホール		カラオケボックス等	待合・料理店類	飲食店	百貨店・マーケット・店舗	旅館・ホテル	寄宿舎・共同住宅	病院・診療所	養護老人ホーム等	老人福祉センター・保育所等	幼稚園又は特別支援学校	学校	図書館・美術館類	蒸気浴場・熱気浴場類	公衆浴場	神社・寺院・教会類	工場・作業場	倉庫	テレビスタジオ	複合用途防火対象物	イ以外の複合用途防火対象物	重要文化財
対象数		1,660	%	2	102	16	2	8	173	273	67	103	33	61	85	9	58	19	1	6	31	113	1	24	189	246	31	7
防火管理者		1,469	88.5%	2	95	15	2	8	126	252	65	69	30	60	85	9	57	18	1	5	30	111	1	23	167	204	27	7
消防計画		1,419	85.5%	2	94	14	2	8	121	241	64	58	30	60	85	9	56	18	1	5	30	107	1	23	163	195	25	7

## 各種届出等受理状況

消防業務を行う上で必要な情報を得るため、消防法や火災予防条例では、特定の行為者に対して、その行為内容についての届出を指導している。

区分 受付署	合 計	白山市						野々市市	川北町	予 防 課
		松任消防署	千代野分署	鶴来消防署	美川消防署	白山消防署	白峰分署			
消防用設備等着工届	175									175
消防用設備等設置届	441									441
防火・防災管理者選任・解任届	349	213	88	29	50	25	18	3	130	6
統括防火・防災管理者選任・解任届	1	1				1				
消防計画作成(変更)届	408	244	112	36	44	29	21	2	150	14
全体についての消防計画作成(変更)届	1	1				1				
消火・避難訓練通報	815	507	208	95	62	79	52	11	273	35
消防用設備等点検結果報告	3,174	1,801	852	300	258	156	160	75	1,209	164
防火対象物点検結果報告	150	85	42	14	14	7	4	4	57	8
防火対象物点検結果報告特例申請	1	1			1					
防災管理対象物点検結果報告	10	8	4	2	2				1	1
防災管理対象物点検結果報告特例申請										
自衛消防組織設置(変更)届	5	4	1	3						1
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱い届	42	21	14	7					19	2
防火対象物使用開始届	452	273	105	32	63	34	36	3	141	38
炉・ボイラー等設置届	103	85	69	3	8		4	1	16	2
発電・変電・蓄電池設置届	83	51	26	8	6	4	6	1	23	9
ネオン管灯設置届										
水素ガスを充てんする気球の設置届										
火災とまぎらわしい煙等届	289	239	66	31	69	55	13	5	39	11
煙火打上げ・仕掛け設置届	4	4	2	1		1				
催物開催届	1								1	
用水・水道の断水・減水届	3	3						3		
道路工事届	37	4	1			3			3	30
露店等の開設届	22	4	1	1	1	1			18	
少量・指定貯蔵取扱い届	61	50	24	1	6	4	12	3	5	6
少量・指定貯蔵取扱い廃止届	34	29	11	3	2	2	10	1	4	1

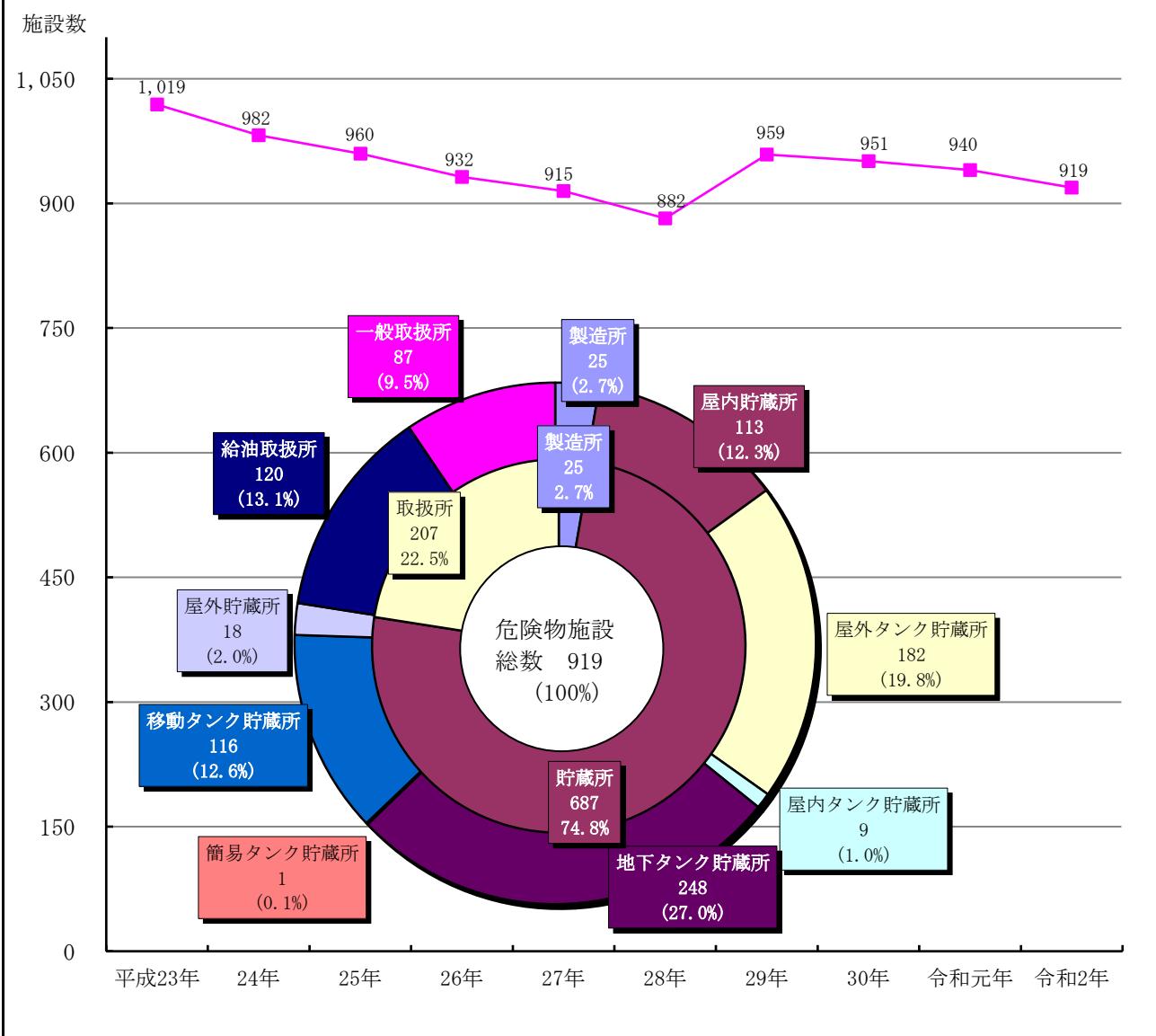
# 危険物規制

危険物による災害の発生を防止するため、一定数量以上の危険物を貯蔵し、又は取り扱う場合は、消防法により、その位置、構造及び設備を一定の基準に適合させ、危険物施設としての許可を受けなければならないほか、その施設の使用にあたっては、完成検査を受けなければならない。施設を変更する場合も同様としなければならない。

危険物施設において貯蔵、取扱いが消防法令どおりに行われているかを定期的に検査し、事故の防止を図っている。



## 危険物施設数の推移



※ 平成29年に危険物施設数が増加した理由は、川北町の編入によるものです。

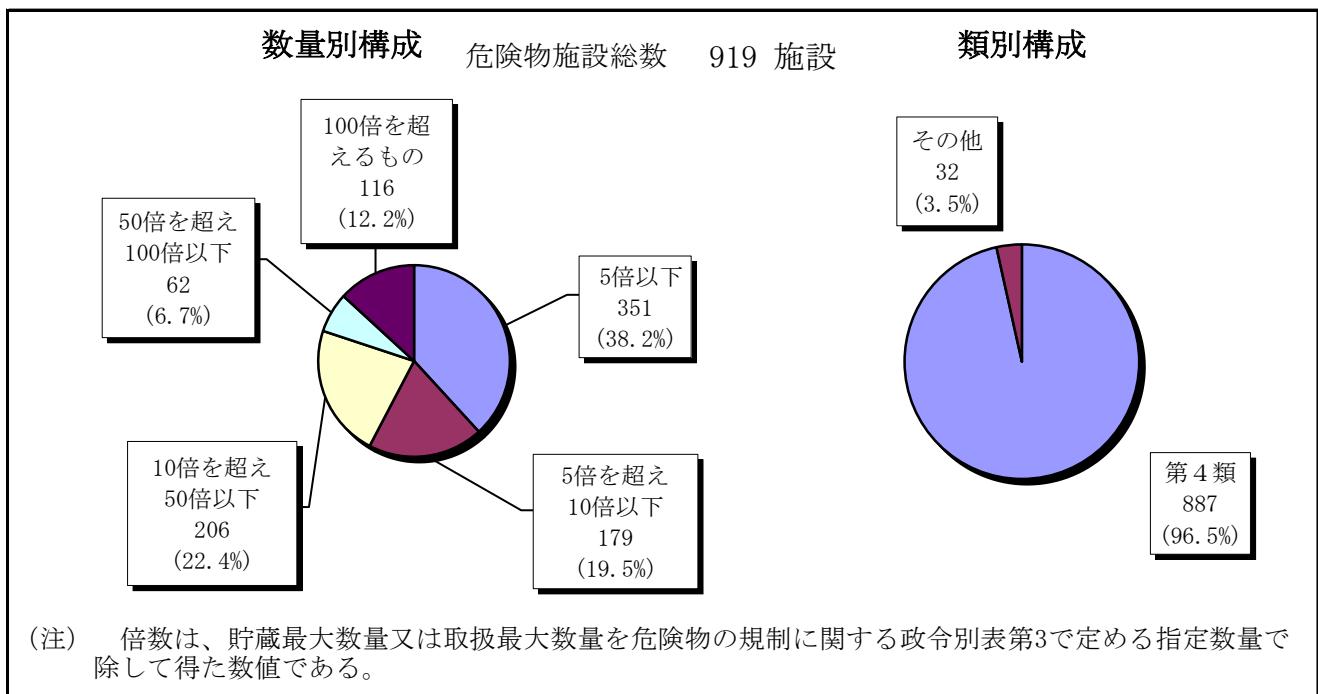
※ 各区分のパーセントの合計は、四捨五入の関係上100パーセントにならない場合があります。

## 危険物施設数

署・分署 施設の区分	合 計	白山市						野々市市	川北町
		松任消防署	千代野分署	鶴来消防署	美川消防署	白山消防署	白峰分署		
合 計	919	730	258	192	88	97	64	31	106
製 造 所	25	25	1	14	1	9			
貯 藏 所	687	548	191	150	61	66	52	28	76
屋 内 貯 藏 所	113	89	51	19	8	8	2	1	11
屋外タンク貯蔵所	182	168	26	89	3	46	4		1
屋内タンク貯蔵所	9	5		4			1		3
地下タンク貯蔵所	248	191	75	16	36	9	36	19	42
簡易タンク貯蔵所	1	1	1						
移動タンク貯蔵所	116	76	33	18	13	1	9	2	19
屋 外 貯 藏 所	18	18	5	4	1	2		6	
取 扱 所	207	157	66	28	26	22	12	3	30
給 油 取 扱 所	120	88	45	14	15	6	7	1	22
一 般 取 扱 所	87	69	21	14	11	16	5	2	10
少量危険物貯蔵取扱所	1,307	1,029	473	99	164	104	129	60	203
指定可燃物貯蔵取扱所	168	130	60	22	10	37		1	15
									75
									23

## 危険物施設の規模及び種別

施設の区分 規模及び種別	合計	製造所	貯蔵所							取扱所				
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所			
完成検査済証交付施設数	919	25	687	113	182	9	248	1	116	18	207	120	87	
数量別	5倍以下	351		313	49	21	6	148	1	86	2	38	3	35
	5倍を超える10倍以下	179	1	139	28	32	3	62		4	10	39	16	23
	10 " 50 "	206	2	139	22	78		30		3	6	65	46	19
	50 " 100 "	62	3	43	2	13		5		23		16	9	7
	100 " 150 "	22	2	13		11		2				7	7	
	150 " 200 "	18	2	10	2	8						6	5	1
	200 " 1,000 "	72	12	24	4	19		1				36	34	2
	1,000 " 5,000 "	9	3	6	6									
	5,000 " 10,000 "													
	10,000倍を超えるもの													
類別別	第1類													
	第2類	3		3		3								
	第3類	1		1	1									
	第4類	887	12	670	100	178	9	248	1	116	18	205	120	85
	第5類	1		1	1									
	第6類	1		1		1								
	混在	26	13	11	11							2		2



※ 各区分のパーセントの合計は、四捨五入の関係上100パーセントにならない場合があります。

## 危険物施設許可・検査の状況

項目	施設の区分	合計	製造所	貯蔵所						取扱所		
				屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	
許可事項		106	53	11	11		6		3	1	14	7
設置許可		9			1	2		1		2	1	2
変更許可		97	53	10	9		5		1		14	5
検査事項		95	45	8	8		7		3	1	16	7
完成検査		8			1	2		1		2	1	1
変更完成検査		87	45	7	6		6		1		16	6
届出事項		168	10	20	28	1	13		17	1	66	12
品名・数量変更届		6		6								
譲渡引渡届		17			3	5	1	1		3		3
廃止届		28	1	2	2		9		10	1	1	2
各種届出		77	5	2	5		3		4		51	7
保安監督者選任・解任届		40	4	7	16						11	2
承認事項	仮使用承認	87	52	9	5		2				14	5
	仮貯蔵・仮取扱承認	4										

## 液体危険物タンクの完成検査前検査の状況

合計	水張検査		水圧検査					
	10kℓ以下	10kℓを超える 1000kℓ以下	600ℓ以下	600ℓを超える 10kℓ以下	10kℓを超える 20kℓ以下	20kℓを超える 30kℓ以下	30kℓを超える	
176	166	165	1	10		9		1

## 危険物施設の立入検査状況

(延回数)

署・分署 施設の区分	合 計	白山市						野々市市	川北町
		松任消防署	千代野分署	鶴来消防署	美川消防署	白山消防署	白峰分署		
合 計	219	181	50	16	23	70	15	7	19
製 造 所	9	9				9			
貯 藏 所	156	120	31	16	11	49	8	5	17
屋 内 貯 藏 所	10	10	6			4			
屋外タンク貯蔵所	47	47	4			40	3		
屋内タンク貯蔵所									
地下タンク貯蔵所	10	6	1		3	2			3 1
簡易タンク貯蔵所									
移動タンク貯蔵所	84	52	20	16	8	1	5	2	14 18
屋 外 貯 藏 所	5	5				2		3	
取 扱 所	54	52	19		12	12	7	2	2
給 油 取 扱 所	31	29	13		10	1	4	1	2
一 般 取 扱 所	23	23	6		2	11	3	1	
少量危険物貯蔵取扱所	102	93	35	10	3	13	20	12	4 5
指定可燃物貯蔵取扱所	25	19	3		1	15			1 5

## 各種救命講習実施状況

(毎年1月1日～12月31日)

区分 年	普通救命講習		上級救命講習		応急手当普及員講習	
	回数	修了者	回数	修了者	回数	修了者
令和2年	77	734	4	28		
令和元年	172	2,697	6	41	1	23
平成30年	164	2,752	6	88	1	12
平成29年	172	2,724	5	65	1	20
平成5年 ～ 平成28年	2,511	42,081	64	1,107	29	598
合 計	3,096	50,988	85	1,329	32	653

※ 集計期間については、総務省消防庁の統計に合わせています。

### 各種講習について

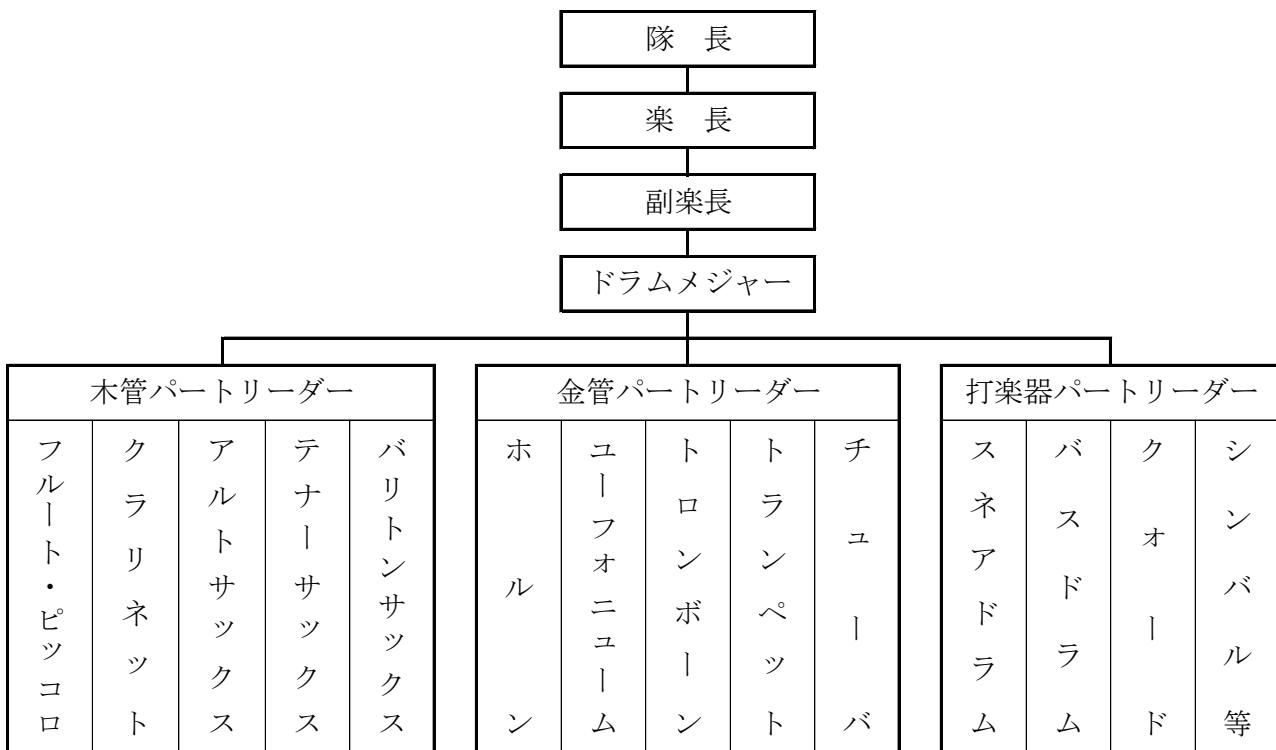
**普通救命講習**：基本的な応急手当てを学ぶ講習会（I）とIの内容に加え、AEDを用いた心肺蘇生法に重点を置いた講習会（II）があります。  
 統計は、IとIIの合算です。

**上級救命講習**：普通救命講習に加え、止血法や搬送法も学ぶ講習会です。

**応急手当普及員講習**：普通救命講習Iの指導者を養成する講習会です。

## 消防音楽隊

所属	階級	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合 計		28			1	3	13	5	6
消防本部		1			1				
松任消防署		7				1	2	2	2
千代野分署		5				2	1	1	1
川北分署									
野々市消防署		2					1	1	
鶴来消防署		5					4	1	
美川消防署		4					2		2
白山消防署		3					3		
白峰分署		1							1



## 活動状況

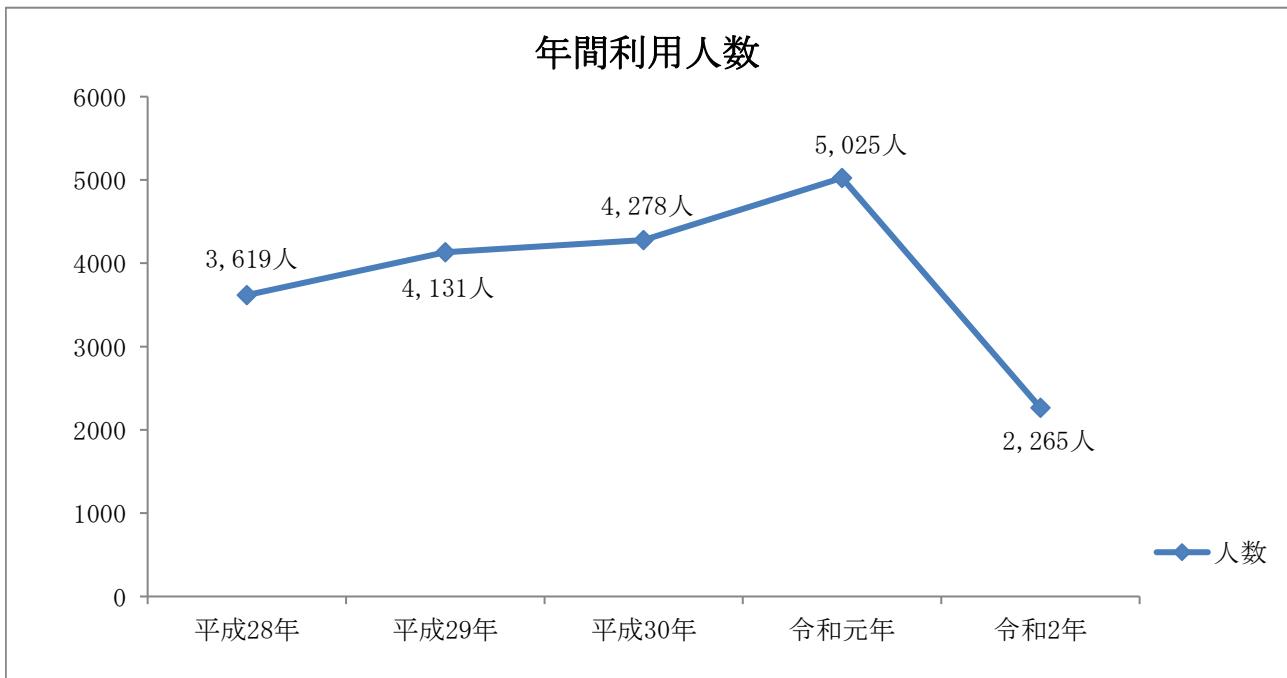
区分 隊名	活動回数	活動内容				
		練習	演奏	組合行事	市町行事	その他
消防音楽隊	85	82	3		3	

# 防災学習センター

## 利用状況

開館日 平成22年10月6日

年別	内訳	団体			個人			合計			1日平均利用者数
		管内	管外	計	管内	管外	計	管内	管外	計	
H28	団体数	100	16	116							12.4 人
	人数	3,059	380	3,439	94	86	180	3,153	466	3,619	293 日
H29	団体数	95	27	122							13.5 人
	人数	3,359	633	3,992	64	75	139	3,423	708	4,131	306 日
H30	団体数	101	30	131							14.0 人
	人数	3,641	457	4,098	113	67	180	3,754	524	4,278	306 日
R1	団体数	123	26	149							16.3 人
	人数	4,349	499	4,848	129	48	177	4,478	547	5,025	309 日
R2	団体数	46	13	59							8.6 人
	人数	1,671	366	2,037	153	75	228	1,824	441	2,265	264 日
開館日からの累計		1,231	284	1,515							15.4 人
		37,835	6,329	44,164	3,254	806	4,060	41,089	7,135	48,224	3,140 日



# 災 害 統 計

火 災 編

## 令和2年の火災概要

### 1 火災の概要

火災件数は29件で、741平方メートルが焼失し、3,605万5,000円の貴重な財産が失われ、死者が2人、負傷者が2人発生しました。

### 2 火災件数

火災件数については、過去5年平均26.6件を上回る29件で、前年と比較して8件の増加となっています。

火災種別ごとにみると、建物火災は15件で2件の増加、車両火災は3件で3件の減少、林野火災は発生なし、その他火災は11件で9件の増加となっています。

### 3 死傷者等

死者は2人で、前年と比較して1人の増加となっています。

負傷者は2人で、前年と比較して7人の減少となっています。

### 4 焼損面積

建物火災による焼損面積については、床面積が741平方メートルで前年と比較して78平方メートルの減少となっています。

表面積については、123平方メートルで前年と比較して117平方メートルの増加となっています。

### 5 損害額

損害額については、3,605万5,000円で、前年と比較して7,326万9,000円の減少となっています。

### 6 出火原因

出火原因については、「放火」による火災が4件で最も多く、次いで「電気機器」が3件、「たばこ」、「こんろ」、「排気管」、「電灯、電話の配線」、「放火の疑い」が各2件、「たき火」、「溶接機・切断機」、「取灰」、「火入れ」が各1件、「その他」5件、不明が3件となっています。

## 火災状況及び前年比較

区分		令和2年	令和元年	増△減
出 火 件 数 (件)	建 物 火 灾	29	21	8
	林 野 火 灾	15	13	2
	車 両 火 灾	3	6	△ 3
	船 舶 火 灾			
	航 空 機 火 灾			
	そ の 他 火 灾	11	2	9
建 物 燃 損 棟 数 (棟)	全 燃	19	17	2
	半 燃	5	3	2
	部 分 燃	1	2	△ 1
	ぼ や	6	1	5
		7	11	△ 4
建 物 燃 損 床 面 積 (m <sup>2</sup> )		741	819	△ 78
林 野 燃 損 面 積 (a)				
車 両 燃 損 台 数 (台)		3	6	△ 3
死 者 (人)		2	1	1
負 傷 者 (人)		2	9	△ 7
り 災 世 帯 数 (世帯)	全 損	10	8	2
	半 損	5	2	3
	小 損	1	2	△ 1
		4	4	
り 災 人 員 (人)		17	24	△ 7
損 害 額 (千円)	建 物 損 害	36,055	109,324	△ 73,269
	林 野 損 害	34,700	103,726	△ 69,026
	車 両 損 害	241	5,598	△ 5,357
	船 舶 損 害			
	航 空 機 損 害			
	そ の 他 損 害	1,114		1,114
	爆 発 損 害			
1 日あたり	出 火 件 数 (件)	0.08	0.06	0.02
	損 害 額 (千円)	99	300	△ 201
建物火災1件あたり	建 物 燃 損 棟 数 (棟)	1.27	1.31	△ 0.04
	建 物 燃 損 床 面 積 (m <sup>2</sup> )	49.43	63.00	△ 13.57
	損 害 額 (千円)	2,313	7,979	△ 5,666
	り 災 世 帯 数 (世帯)	0.67	0.62	0.05
	り 災 人 員 (人)	1.13	1.85	△ 0.71
住民1人あたりの損害額 (円)		209	633	△ 424
火 灾 発 生 間 隔 (日)		12.59	17.38	△ 4.79
管 内 人 口 (人)		172,564	172,794	△ 230
出 火 率 (件)※		1.68	1.22	0.47

※ 出火率とは、人口1万人あたりの出火件数をいう。

## 過去5年間の火災状況

区分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	平均
出火件数(件)	30	22	31	21	29	26.6
建物火災	17	13	19	13	15	15.4
林野火災			1			0.2
車両火災	7	5	6	6	3	5.4
船舶火災						
航空機火災						
その他火災	6	4	5	2	11	5.6
建物焼損棟数(棟)	22	23	19	17	19	20.0
全焼	3	7	1	3	5	3.8
半焼	1			2	1	0.8
部分焼	5	8	3	1	6	4.6
ぼや	13	8	15	11	7	10.8
建物焼損床面積(m <sup>2</sup> )	1,607	1,081	414	819	741	932.5
建物焼損表面積(m <sup>2</sup> )	148	50	20	6	123	69.3
林野焼損面積(a)			2			0.4
車両焼損台数(台)	7	14	6	6	3	7.2
死者(人)	3		3	1	2	1.8
負傷者(人)	3	3	1	9	2	3.6
り災世帯数(世帯)	13	12	9	8	10	10.4
全損	3	2	3	2	5	3.0
半損				2	1	0.6
小損	10	10	6	4	4	6.8
り災人員(人)	42	40	20	24	17	28.6
損害額(千円)	85,468	113,606	42,713	109,324	36,055	77,433.2
建物損害	64,668	101,966	41,133	103,726	34,700	69,238.6
林野損害						
車両損害	332	9,753	891	5,598	241	3,363.0
船舶損害						
航空機損害						
その他損害	468	1,887	689		1,114	831.6
爆発損害						
管内人口(人)	164,826	171,080	172,564	172,794	172,564	—
※出火率(件)	1.82	1.29	1.80	1.22	1.68	—

## 構成市町別出火状況

市・町 (地域) 区 分	合 計	白 山 市							野 々 市 市	川 北 町
		松 任 地 域	美 川 地 域	鶴 来 地 域	河 内 地 域	吉 野 谷 地 域	鳥 越 地 域	尾 口 地 域		
出 火 件 数	29	23	15	5	3					6
建 物 火 災	15	12	10	1	1					3
林 野 火 灾										
車 両 火 灾	3	2	2							1
船 舶 火 灾										
航空機 火 灾										
そ の 他 火 灾	11	9	3	4	2					2
火 元 棟	焼損床面積 (m <sup>2</sup> )	269	241	115	126					28
	焼損表面積 (m <sup>2</sup> )									
焼 損 棟 数	19	16	12	3	1					3
全 燃 焼	5	4	3	1						1
半 燃 焼	1	1	1							
部 分 燃	6	5	3	2						1
ぼ や や	7	6	5		1					1
り 災 世 帯	10	10	9	1						
全 損	5	5	4	1						
半 損	1	1	1							
小 損	4	4	4							
り 災 人 員	17	17	16	1						
焼 損 面 積	床 面 積 (m <sup>2</sup> )	741	705	579	126					36
	表 面 積 (m <sup>2</sup> )	123	122	107	15					1
林 野 (a)										
焼 損 車 両 台 数	3	2	2							1
死 者	2	2	1	1						
負 傷 者	2	2	1		1					
損 害 額 (千円)	36,055	30,134	16,960	13,158	16					5,921
建 物 損 害	34,700	28,979	15,821	13,158						5,721
林 野 損 害										
車 両 損 害	241	79	79							162
船 舶 損 害										
航 空 機 損 害										
そ の 他 損 害	1,114	1,076	1,060		16					38
爆 発 損 害										
1 件平均損害額 (千円)	1,243	1,310	1,131	2,632	5					987

## 過去5年間の構成市町別出火状況

件 数( 件 )  
損害額(千円)

区分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	平均
件 数 合 計	30	22	31	21	29	26.6
損 害 額 合 計	85,468	113,606	42,713	109,324	36,055	77,433.2
白 山 市	23	13	18	14	23	18.2
	69,021	84,079	40,148	109,170	30,134	66,510.4
松 任 地 域	12	12	9	11	15	11.8
	66,517	83,991	38,268	46,266	16,960	50,400.4
美 川 地 域	3		2		5	2.0
	61		263		13,158	2,696.4
鶴 来 地 域	7	1	3	2	3	3.2
	2,443	88	1,253	62,904	16	13,340.8
河 内 地 域				1		0.2
吉 野 谷 地 域						
鳥 越 地 域	1		1			0.4
尾 口 地 域			2			0.4
			328			65.6
白 峰 地 域			1			0.2
			36			7.2
野 夕 市 市	7	6	11	7	6	7.4
	16,447	20,477	2,542	154	5,921	9,108.2
川 北 町		3	2			1.3
		9,050	23			2,268.3

## 過去5年間の原因別出火状況

原 因 区 分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	平 均
合 計 件 数	30	22	31	21	29	26.6
た ば こ	3	2	2	1	2	2.0
こ ん ろ	2			3	2	1.4
か ま ど						
風 呂 か ま ど						
炉			2			0.4
燒 却 炉				1		0.2
ス ト 一 ブ		1	1			0.4
こ た つ						
ボ イ ラ 一						
煙 突 ・ 煙 道			1			0.2
排 気 管	3			1	2	1.2
電 気 機 器	2	1	3	2	3	2.2
電 气 装 置	1	2	1	1		1.0
電灯・電話等の配線			1	1	2	0.8
内 燃 機 関				1		0.2
配 線 器 具	2	1	1			0.8
火 あ そ び	1	1				0.4
マッチ・ライター		1	2	1		0.8
た き 火	1			1	1	0.6
溶 接 機 ・ 切 断 機					1	0.2
灯 火						
衝 突 の 火 花						
取 灰				1	1	0.4
火 入 れ			2		1	0.6
放 火	1	1	2		4	1.6
放 火 の 疑 い	1	3	3		2	1.8
そ の 他	4	3	6	4	5	4.4
不 明	9	6	4	3	3	5.0
調 査 中						

**時間・曜日・覚知・原因別出火件数**

区分		合計	時間間帯																									
出火件数		29	1			2	1	1	2	2	3	3	3	1	3	1	1			2	1	2						
火災種別	建物火災	15				2	1	1	2	1	1		2		1	2	1									1		
	林野火災																											
	車両火災	3									1	1					1											
	船舶火災																											
	航空機火災																											
	その他火災	11	1								1		1	3			1			2	2							
曜日別	月曜日	7				1		1		1			2			1				1								
	火曜日	1									1																	
	水曜日	10				1	1		1		2		1	1			1			1		1	1					
	木曜日	3								1						2												
	金曜日	3	1													1										1		
	土曜日	3									1		1	1														
	日曜日	1										1																
覚知別	不 明	1																									1	
	固定電話(I.P.)	1													1													
	119番 固定電話(加入)	2				1					1																	
	携帯電話	17				1	1	1	1	1	3		2	3	1	1	1									1		
	119番 以外 固定電話	1								1																		
	携帯電話																											
	警察電話																											
	駆け付け																											
	事後聞知	8	1													2	1			2	2							
出火原因別	そ の 他																											
	た ば こ	2							1		1																	
	こ ん ろ	2										1				1		1										
	か ま ど																											
	風呂かまど																											
	炉																											
	焼却炉																											
	ストーブ																											
	こ た つ																											
	ボイラー																											
	煙突・煙道																											
	排気管	2														1			1									
	電気機器	3													1			1		1								
	電気装置																											
	電灯・電話等の配線	2						1			1																	
	内燃機関																											
	配線器具																											
	火あそび																											
	マッチ・ライター																											
	た き 火	1														1												
	火入れ	1																				1						
	放 火	4	1					1																		1	1	
	放火の疑い	2																1										1
	そ の 他	5					1										1	1									1	1
	不明	3													1	1			1									
	調査中																											
合 計		29	1			2	1	1	2	2	3	3	3	1	3	1	1			2	1	2						

# 救急・救助 編

## 令和2年の救急概要

### 1 救急出動件数及び搬送人員

救急出動件数については5,504件で、前年の5,953件に比べ449件減少し、1日平均では約15件出動したことになります。

搬送人員については5,255人で、管内住民の約33人に1人が搬送されたことになります。

### 2 事故種別

事故種別では、急病が3,551件で最も多く、次いで一般負傷894件、交通事故450件、転院搬送435件の順となっています。

### 3 普及啓発活動

応急手当の普及啓発は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、応急手当講習会の規模を縮小しながら管内住民及び事業所を対象に81回の講習会を開催し、762人が受講しました。

## 令和2年の救助概要

### 1 救助出動件数及び救出人員

救助出動件数は84件で、救出人員は53人となっています。

### 2 事故種別

事故種別では、交通事故が35件で最も多く、次いで建物等による事故が10件となっています。

## 救急活動状況

種別 区分		合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働	運 動	一 般	加 害	自 損	急 病	転 院	医 師	資 器 材 等	の 他
件 数	出 動	5,504	17		11	450	70	16	894	13	42	3,551	435			5
	搬 送	5,215	1		2	425	68	15	853	10	28	3,380	432			1
	不搬送	289	16		9	25	2	1	41	3	14	171	3			4
	搬送人員	5,255	1		2	460	69	15	853	10	28	3,383	432			2
死 亡		101				6	1		12		10	66	6			
重 症		810			2	15	11		161	1	3	499	118			
中等症		2,134				95	21	6	284	2	9	1,443	272			2
輕 症		2,210	1			344	36	9	396	7	6	1,375	36			

※傷病程度の定義

死 亡：初診時において死亡が確認されたもの。

重 症：傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。

中等症：傷病程度が重症又は軽症以外のもの。

軽 症：傷病程度が入院加療を必要としないもの。

## 過去5年間の救急活動概要

年 種 別		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	平均
出 動 件 数		5,431	5,694	6,114	5,953	5,504	5,739.2
搬 送 件 数		5,134	5,349	5,717	5,644	5,215	5,411.8
搬 送 人 員		5,192	5,405	5,770	5,705	5,255	5,465.4
事 故 種 別 救 急 出 動 件 数	火 災	17	20	19	25	17	19.6
	自然災害						
	水 難	4	3	4	2	11	4.8
	交 通	550	531	490	465	450	497.2
	労働災害	50	59	93	99	70	74.2
	運動競技	29	37	35	38	16	31.0
	一般負傷	796	916	902	876	894	876.8
	加 害	11	9	20	20	13	14.6
	自損行為	38	30	31	49	42	38.0
	急 病	3,587	3,734	4,015	3,891	3,551	3,755.6
	転院搬送	349	352	504	487	435	425.4
	医師搬送						
	資 器 材 等 輸 送						
	そ の 他		3	1	1	5	2.0
1日平均出動件数		14.9	15.6	16.8	16.3	15.1	15.7
管 内 人 口		164,826	171,080	172,564	172,794	172,564	170,765.6
人口1万人あたりの 救 急 出 動 件 数		329.4	332.8	354.3	344.5	319.0	336.0

## 構成市町別救急状況

出動先		種別	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資輸器材等送	その他
合計	出動件数	5,504	17		11	450	70	16	894	13	42	3,551	435			5	
	搬送人員	5,255	1		2	460	69	15	853	10	28	3,383	432			2	
白山市	出動件数	3,573	12		11	288	57	14	575	11	25	2,305	273			2	
	搬送人員	3,431	1		2	302	56	13	546	8	17	2,215	271				
松任地域	出動件数	2,252	10		8	196	41	6	335	8	15	1,486	147				
	搬送人員	2,163	1		1	206	40	6	321	5	11	1,426	146				
鶴来地域	出動件数	630	1		2	52	7	3	107	3	5	374	76				
	搬送人員	609				55	7	3	102	3	4	359	76				
美川地域	出動件数	413	1		1	13	3	4	72		2	276	41				
	搬送人員	402			1	14	3	4	68		2	270	40				
河内地域	出動件数	43				2	1		13		2	25					
	搬送人員	42				2	2		13			25					
吉野谷地域	出動件数	59				4	1	1	10			40	3				
	搬送人員	52				3	1		7			38	3				
鳥越地域	出動件数	85				11	1		16			57					
	搬送人員	81				11	1		16			53					
尾口地域	出動件数	34				9	1		9			14				1	
	搬送人員	32				10	1		8			13					
白峰地域	出動件数	57				1	2		13		1	33	6			1	
	搬送人員	50				1	1		11			31	6				
野々市市	出動件数	1,776	5			151	9	2	286	2	13	1,148	157			3	
	搬送人員	1,679				148	9	2	274	2	9	1,077	156			2	
川北町	出動件数	151				9	4		33		2	98	5				
	搬送人員	143				9	4		33		1	91	5				
その他の市町	出動件数	4				2					2						
	搬送人員	2				1					1						

## 救急隊別救急活動状況

種 別 出 動 隊		合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 輸 器 材	そ の 他
合 計	出動作数	5,504	17		11	450	70	16	894	13	42	3,551	435			5
	搬送人員	5,255	1		2	460	69	15	853	10	28	3,383	432			2
松任救急隊	出動作数	1,102	6		2	115	12	3	153	2	6	674	129			
	搬送人員	1,062	1			121	12	3	147	2	4	644	128			
千代野救急隊	出動作数	1,089	5		2	80	17	1	171	5	5	753	50			
	搬送人員	1,052			1	88	17	1	162	4	4	725	50			
鶴来救急隊	出動作数	585			2	38	5	2	104	3	8	351	72			
	搬送人員	567				41	5	2	101	2	6	338	72			
美川救急隊	出動作数	627			4	32	11	5	104	1	7	426	37			
	搬送人員	594			1	29	11	5	102		4	406	36			
白山救急隊	出動作数	221				26	5	1	45		2	137	4			1
	搬送人員	208				27	5		42			130	4			
白峰救急隊	出動作数	64				6	1		13		1	36	6			1
	搬送人員	56				4	1		11			34	6			
野々市救急隊	出動作数	1,522	6			131	12	3	251	2	11	980	123			3
	搬送人員	1,437				129	12	3	238	2	8	921	122			2
川北救急隊	出動作数	294			1	22	7	1	53		2	194	14			
	搬送人員	279				21	6	1	50		2	185	14			

## 事故種別年齢区分別傷病程度別搬送人員

種別 区分	合計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	5,255	1		2	460	69	15	853	10	28	3,383	434
死 亡	101				6	1		12		10	66	6
重 症	811			2	15	11		161	1	3	500	118
中 等 症	2,132				95	21	6	284	2	9	1,441	274
軽 症	2,211	1			344	36	9	396	7	6	1,376	36
新 生 児	2										1	1
死 亡												
重 症												
中 等 症	1											1
軽 症	1											1
乳 幼 児	230				19			83			124	4
死 亡	1							1				
重 症	2							1				1
中 等 症	41				4			5			29	3
軽 症	186				15			76				95
少 年	199			1	50		12	39		1	91	5
死 亡	1											1
重 症	7			1	2			1		1		2
中 等 症	42				8		5	8			20	1
軽 症	149				40		7	30			70	2
成 人	1,600	1		1	260	58	3	156	6	19	976	120
死 亡	19				4	1		1		8	3	2
重 症	116			1	4	10		17		1	60	23
中 等 症	526				49	14	1	52	2	6	318	84
軽 症	939	1			203	33	2	86	4	4	595	11
老 人	3,224				131	11		575	4	8	2,191	304
死 亡	80				2			10		2	62	4
重 症	686				9	1		142	1	1	440	92
中 等 症	1,522				34	7		219		3	1,074	185
軽 症	936				86	3		204	3	2	615	23

\* 年齢区分の定義 新生児：生後28日未満  
 乳幼児：生後28日以上7歳未満  
 少年：7歳以上18歳未満  
 成人：18歳以上65歳未満  
 老人：65歳以上

### 時間帯別出動件数

種別 時間 \	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 輸 機 材 等 送	そ の 他
合 計	5,504	17		11	450	70	16	894	13	42	3,551	435			5
0 ~ 2	243				4	2		30	2	1	195	9			
2 ~ 4	157			1	6			20		2	125	3			
4 ~ 6	216	2			13			23		1	173	4			
6 ~ 8	394	1		3	28	3		63		4	284	8			
8 ~ 10	648	2			62	11	5	109		4	389	66			
10 ~ 12	714	5		2	54	25	5	118		3	414	88			
12 ~ 14	667	2		2	55	9	3	111		3	401	79			2
14 ~ 16	592	1		1	55	9	2	110		6	351	54			3
16 ~ 18	611	3		2	70	9	1	99	2	5	354	66			
18 ~ 20	563				62	2		104	1	6	359	29			
20 ~ 22	393				26			73	2	2	273	17			
22 ~ 24	306	1			15			34	6	5	233	12			

### 時間帯別搬送人員

種別 時間 \	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 輸 機 材 等 送	そ の 他
合 計	5,255	1		2	460	69	15	853	10	28	3,383	432			2
0 ~ 2	234				3	2		30	1	1	188	9			
2 ~ 4	143				6			19		1	114	3			
4 ~ 6	207				12			23		1	167	4			
6 ~ 8	370	1			29	3		62		1	266	8			
8 ~ 10	630				60	11	5	107		4	378	65			
10 ~ 12	678				52	25	5	114			396	86			
12 ~ 14	637				60	9	3	104		3	379	79			
14 ~ 16	570			1	65	8	1	103		4	332	54			2
16 ~ 18	580			1	68	9	1	92	1	4	338	66			
18 ~ 20	540				62	2		96	1	4	346	29			
20 ~ 22	376				28			71	1	2	257	17			
22 ~ 24	290				15			32	6	3	222	12			

## 現場到着所要時間別出動件数

時間 種別	合 計	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	平均時間 (分)
合 計	5,504	115	929	3,765	655	40	6.9
急 病	3,551	63	565	2,508	399	16	6.7
交 通	450	4	62	302	77	5	7.2
一般負傷	894	12	144	609	115	14	7.6
そ の 他	609	36	158	346	64	5	6.2
							前年度 平均時間 6.6分

## 医療機関収容所要時間別搬送人員

時間 種別	合 計	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	平均時間 (分)
合 計	5,255 (100.0%)	1 (0.0%)	210 (4.0%)	1,694 (32.2%)	3,112 (59.2%)	230 (4.4%)	8 (0.2%)	38.3
急 病	3,383 (100.0%)	1 (0.0%)	107 (3.2%)	1,131 (33.4%)	2,014 (59.5%)	126 (3.7%)	4 (0.1%)	39.0
交 通	460 (100.0%)		10 (2.2%)	119 (25.9%)	301 (65.4%)	30 (6.5%)		38.4
一般負傷	853 (100.0%)		30 (3.5%)	248 (29.1%)	520 (61.0%)	51 (6.0%)	4 (0.5%)	38.2
そ の 他	559 (100.0%)		63 (11.3%)	196 (35.1%)	277 (49.6%)	23 (4.1%)		37.6

## 曜日別月別出動件数

種別 曜日/月	合計	火災	自然灾害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資輸器材等送	その他
月曜日	845	3		2	78	7	2	131	1	5	532	83			1
火曜日	786	1			66	16	2	115	1	5	507	72			1
水曜日	783	8		1	55	19	4	119	2	6	496	71			2
木曜日	791	2		3	64	13		133	2	5	504	65			
金曜日	822			2	65	4	1	136	5	5	513	91			
土曜日	712	1			66	8	5	123		7	465	36			1
日曜日	765	2		3	56	3	2	137	2	9	534	17			
合計	5,504	17		11	450	70	16	894	13	42	3,551	435			5
1月	549	2		2	43	6	3	83	1	4	356	48			1
2月	469	2			50	1	1	78	2	1	299	35			
3月	447	1			35	7		66	2	5	297	34			
4月	351				26	3		82	2	2	208	28			
5月	386	4		1	31	6		72	1	4	241	26			
6月	451			2	49	5	1	70		3	282	37			2
7月	410			1	30	9	1	68		4	272	25			
8月	519	1		4	38	13	2	74	1	4	341	41			
9月	465	2			33	3	3	54	3	2	316	49			
10月	499	1		1	32	6	2	93	1	4	320	39			
11月	458	1			43	6	3	70		3	299	32			1
12月	500	3			40	5		84		6	320	41			1

## 曜日別月別搬送人員

種別 曜日/月	合計	火災	自然灾害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資輸器材等送	その他
月曜日	811				79	7	2	129	1	1	505	85			2
火曜日	741				67	15	1	108		2	478	70			
水曜日	752	1		1	59	20	4	115	2	4	476	70			
木曜日	754				65	12		124	2	3	483	65			
金曜日	793			1	63	4	1	131	4	5	493	91			
土曜日	683				70	8	5	116		5	443	36			
日曜日	723				57	3	2	130	1	8	505	17			
合計	5,255	1	2	460	69	15	853	10	28	3,383	432				2
1月	516				43	5	3	77	1	3	337	47			
2月	448	1			51	1	1	77	1	1	280	35			
3月	423				41	7		63	2	2	275	33			
4月	330				24	3		78	2	1	194	28			
5月	368		1	34	6			68		4	230	25			
6月	429				47	5	1	66		1	270	37			2
7月	405		1	31	9	1	68		4	266	25				
8月	490				38	12	2	68		4	325	41			
9月	451				34	3	2	53	3	1	306	49			
10月	483				37	7	2	86	1	1	310	39			
11月	435				44	6	3	67		2	282	31			
12月	475				36	5		82		4	308	40			

## 白山白川郷ホワイトロードにおける救急状況

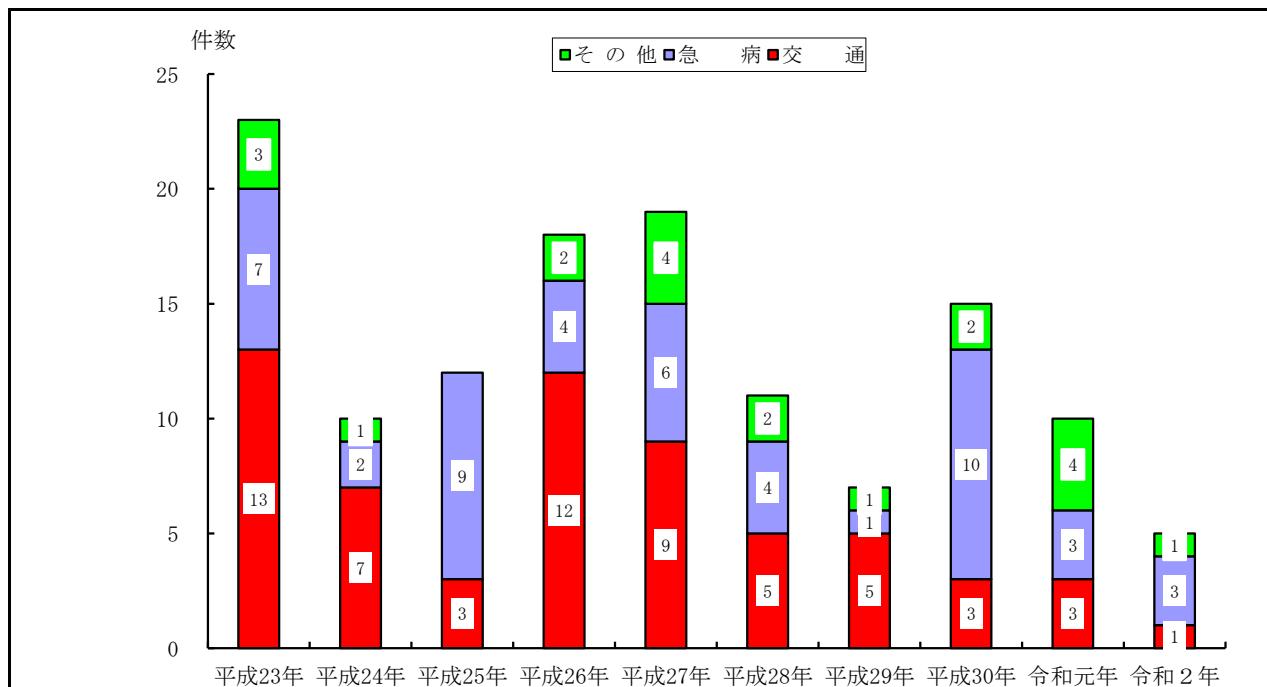
白山白川郷ホワイトロードにおける救急活動状況は、昭和52年8月の開通以来41年間で出場累計58件、56人を搬送した。

年区分	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
供用期間	6/13~11/13	6/1~11/18	6/8~11/17	5/30~11/16	6/14~11/15	6/4~11/13	6/11~11/19	6/15~11/13	7/19~11/25	なし※
日 数	154	171	163	171	155	163	162	152	129	
出場件数	1	3	3	1	3	2		1		
交通		3	1	1	1					
急 病			1		1	1				
その他の	1		1		1	1		1		
搬送件数	1	3	3	1	2	1				
搬送人員	1	4	3	1	2	1				

※ 土砂崩落による工事のため供用期間なし。

## 北陸自動車道における救急状況

高速自動車国道北陸自動車道における救急活動状況は、救急業務を開始した昭和55年以来37年間で、出場累計568件、648人を搬送した。



年区分	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
出場件数	23	10	12	18	19	11	7	15	10	5
交通	13	7	3	12	9	5	5	3	3	1
急病	7	2	9	4	6	4	1	10	3	3
その他	3	1		2	4	2	1	2	4	1
搬送件数	18	9	12	15	13	11	7	12	8	5
搬送人員	24	9	12	16	14	11	8	13	8	5

## 救助状況及び前年比較

区分		令和2年	令和元年	増△減
合計	出動件数	84	88	△ 4
	活動件数	50	43	7
	救助人員	53	43	10
火災	建物	出動件数	3	3
		活動件数	3	3
		救助人員	1	1
火災	建物外	出動件数		
		活動件数		
		救助人員		
交通事故	出動件数	35	36	△ 1
	活動件数	13	7	6
	救助人員	16	8	8
水難事故	出動件数	9	3	6
	活動件数	8	2	6
	救助人員	8	2	6
風水害等 自然災害事故	出動件数			
	活動件数			
	救助人員			
機械等に故 よる事	出動件数	1	3	△ 2
	活動件数		1	△ 1
	救助人員		1	△ 1
建物等に故 よる事	出動件数	10	20	△ 10
	活動件数	6	12	△ 6
	救助人員	6	11	△ 5
ガス欠及び 酸事故	出動件数			
	活動件数			
	救助人員			
破裂事故	出動件数			
	活動件数			
	救助人員			
その他事故	出動件数	26	26	
	活動件数	20	21	△ 1
	救助人員	22	21	1

## 構成市町別救助状況

市町別	種別 内訳	合計	火 災		交通 事故	水 難 事 故	事 自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 事 故	酸 ガ 欠 ス 事 及 故 び	破 裂 事 故	そ の 他
			建 物	建 物 外								
合 計	出動件数	84	3		35	9		1	10			26 (10)
	活動件数	50	3		13	8			6			20 (8)
	救助人員	53	1		16	8			6			22 (9)
口 市 山	出動件数	69	3		28	9		1	5			23 (10)
	活動件数	43	3		12	8			2			18 (8)
	救助人員	46	1		15	8			2			20 (9)
松任地域	出動件数	39	3		19	6		1	3			7
	活動件数	22	3		9	5						5
	救助人員	22	1		10	5						6
鶴来地域	出動件数	10			6	1			1			2
	活動件数	5			2	1			1			1
	救助人員	5			3				1			1
美川地域	出動件数	5			2	1			1			1
	活動件数	3				1			1			1
	救助人員	3				1			1			1
河内地域	出動件数	1										1
	活動件数	1										1
	救助人員	1										1
吉野谷地域	出動件数	1										1 (1)
	活動件数	1										1 (1)
	救助人員	1										1 (1)
鳥越地域	出動件数	2				1						1
	活動件数	2				1						1
	救助人員	3				2						1
尾口地域	出動件数	4			1							3 (2)
	活動件数	4			1							3 (2)
	救助人員	6			2							4 (3)
白峰地域	出動件数	7										7 (7)
	活動件数	5										5 (5)
	救助人員	5										5 (5)
野々市市	出動件数	13			6				5			2
	活動件数	6			1				4			1
	救助人員	6			1				4			1
川北町	出動件数	1			1							
	活動件数											
	救助人員											
その他の市町	出動件数	1										1
	活動件数	1										1
	救助人員	1										1

※ 救助項目中、その他の( )はうち山岳救助数を表す。

## 災害対応隊等の状況調査

月	区分	特別	水難	山岳	化学	連携機関			
						防災ヘリ	県警ヘリ	ドクヘリ	その他
合計	救助出動	65	5	5		9		3	
	救助活動	25	3	2		6		3	
	救助人員	25	4	3		6		3	
1月	救助出動	5							
	救助活動	3							
	救助人員	3							
2月	救助出動	7							
	救助活動	1							
	救助人員	2							
3月	救助出動	3							
	救助活動	1							
	救助人員	1							
4月	救助出動	4				1		1	
	救助活動	1				1		1	
	救助人員	1				1			
5月	救助出動	3	1			1		2	
	救助活動	3	1					2	
	救助人員	2	1					3	
6月	救助出動	7	2						
	救助活動	2	1						
	救助人員	3	2						
7月	救助出動	4	1						
	救助活動	2	1						
	救助人員	2	1						
8月	救助出動	9	1	2		6			
	救助活動	6		1		4			
	救助人員	5		1		4			
9月	救助出動								
	救助活動								
	救助人員								
10月	救助出動	7		2		1			
	救助活動	3		1		1			
	救助人員	3		2		1			
11月	救助出動	10							
	救助活動	3							
	救助人員	3							
12月	救助出動	6		1					
	救助活動								
	救助人員								

## そ の 他

## 119番着信件数

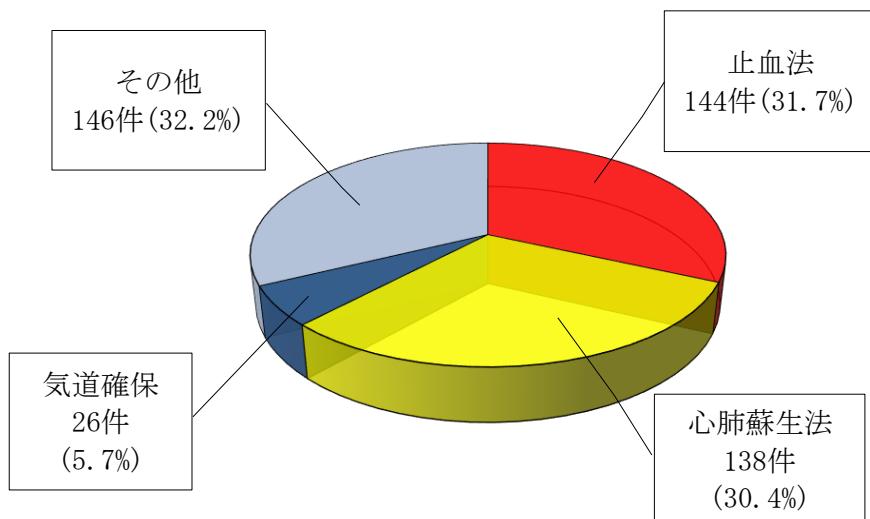
区分	合計	火災	救急	救助	事故	間違い	いたずら	訓練通報	試験通報	無応答	その他
合 計	7,837	35	5,453	28	35	256	10	669	491	146	714
固定 119	1,933	1	942	2	1	35	2	341	435	13	161
携帯 119	3,727	29	2,770	23	34	180	8	60	45	120	458
I P 119	2,177	5	1,741	3		41		268	11	13	95

## 口頭指導及びバイスタンダー応急手当の状況

令和2年中の救急出動件数5,504件のうち119番で受信したものは、5,453件です。

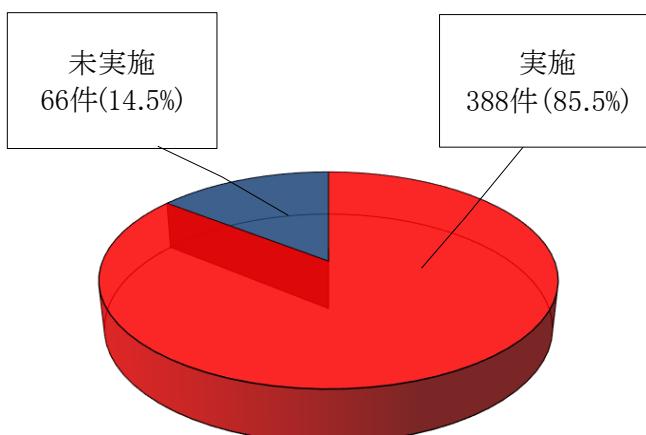
この中で、傷病者の状態の悪化を防ぐため、454件の口頭指導を行いました。

口頭指導の内訳	
止血法	144 件
心肺蘇生法	138 件
気道確保	26 件
その他	146 件
<b>合 計</b>	<b>454 件</b>



454件の口頭指導のうち、家族や同僚等の協力者(バイスタンダー)が応急手当を実施した件数は388件で、未実施であった件数は66件です。

口頭指導による応急手当の実施状況	
実施	388 件
未実施	66 件
<b>合 計</b>	<b>454 件</b>



# 障害者・外国人に円滑に対応するための取組

総務省消防庁では、障害者・外国人からの119番通報や救急現場等において円滑に対応できるよう、消防本部における「Net119緊急通報システム」、「三者間同時通訳」及び「多言語音声翻訳アプリ」の導入を推進しています。

当本部では、消防指令システムの更新に合わせて全て整備を行い、令和元年10月1日から運用を開始しました。

## 1 Net119緊急通報システム

Net119緊急通報システムは、音声による119番通報が困難な聴覚・言語機能障害者が、事前登録することにより、円滑に消防への通報を行えるようにするシステムです。

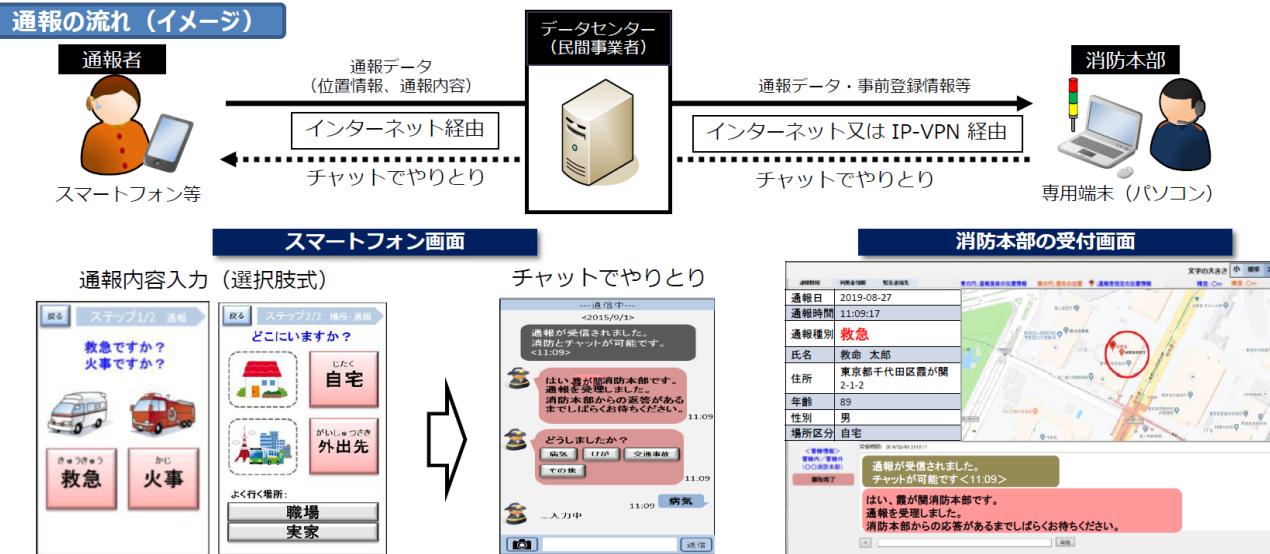
スマートフォンなどから通報用Webサイトにアクセスし、「火事」、「救急」の別と、通報者の位置情報を入力すれば、即座に消防本部に通報が繋がり、その後にテキストチャットで詳細を確認する仕組みです。

通報件数 (R2. 1. 1～R2. 12. 31)

災害種別	火 災	救 急	救 助	合 計
通報件数		3		3

登録者数 (R2. 12. 31現在)

市 町 名	白山市	野々市市	川北町	合 計
登録者数	22	17		39



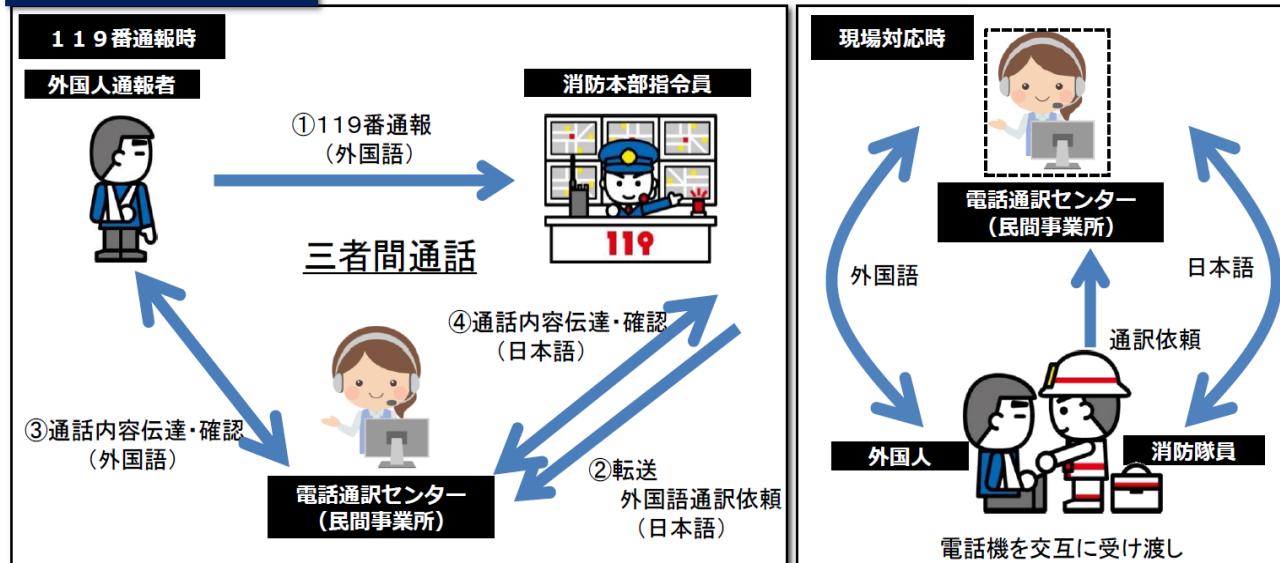
## 2 電話通訳センターを介した三者間同時通訳

電話通訳センターを介した三者間同時通訳は、外国人からの119番通報時や、外国人のいる救急現場での活動時等において、迅速かつ的確に対応するため、電話通訳センターを介して、24時間365日主要な言語で対応するものです。外国人からの119番通報を消防本部通信指令課で受け、それを電話通訳センターに転送することで、三者間同時通訳を行います。

また、119番通報時だけではなく、現場対応時においても、電話を交互に受け渡し、電話通訳センターに通訳を依頼することができます。

利用実績 (R2. 1. 1～R2. 12. 31)	なし
----------------------------	----

### 三者間同時通訳の流れ



## 3 多言語音声翻訳アプリ「救急ボイストラ」

救急ボイストラは、消防庁消防研究センターと国立研究開発法人情報通信研究機構が、救急隊用に開発した多言語音声翻訳アプリです。音声翻訳機能に加えて、救急現場で使用頻度が高い会話内容を「定型文」として登録しており、外国語による音声と画面の文字による円滑なコミュニケーションを図ることができます。

また、話した言葉を文字として表示する機能等があるため、聴覚障害者などのコミュニケーションにも活用できます。

利用実績 (R2. 1. 1～R2. 12. 31)	8件
----------------------------	----



- 救急隊用46の定型文の対応言語は15種類※
- 聴覚障害者とのコミュニケーションにも活用可能

※ 定型文対応言語

〔英語、中国語(簡体字)、中国語(繁体字)、韓国語、タイ語、フランス語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語、ミャンマー語、ロシア語、マレー語、ドイツ語、ネパール語、ブラジルポルトガル語〕

## 消防車両等の出動状況

所 属	種 別 出動 延 数	合 計	火	救	救	火 災 外 事 故	風 水 害 等 の 災 害	演 習	広 報	警 防	火 災 調 査	特 別 警 戒	搜 索	予 防 查	そ の 他
			災	急	助	等		訓	練	指 導	查	調	査	索	察
合 計	車両数	13,765	88	6,160	171	41		2,576	410	728	26	13		709	2,843
	人 員	44,175	331	19,056	597	143		9,157	1,374	2,512	86	49		2,539	8,331
松任消防署	車両数	2,898	36	1,232	82	9		484	39	110	8			193	705
	人 員	10,103	152	3,818	309	36		1,786	152	437	28			774	2,611
千代野分署	車両数	2,356	9	1,225	22	3		485	59	83	4			52	414
	人 員	7,696	32	3,825	81	12		1,712	210	312	15			195	1,302
川北分署	車両数	957	7	295		1		191	37	85				59	282
	人 員	2,694	21	885		3		565	102	251				177	690
野々市消防署	車両数	3,059	18	1,620	15	17		633	105	106	4	1		191	349
	人 員	9,824	64	5,023	54	57		2,223	364	363	14	4		661	997
鶴来消防署	車両数	1,585	5	704	16	5		295	61	82	2	2		84	329
	人 員	5,165	18	2,176	47	16		1,153	195	293	6	7		291	963
美川消防署	車両数	1,628	13	750	11	5		243	69	104	8	5		75	345
	人 員	5,074	44	2,311	33	16		929	227	354	23	18		256	863
白山消防署	車両数	780		270	21	1		167	17	84		5		39	176
	人 員	2,427		823	67	3		559	55	262		20		137	501
白峰分署	車両数	502		64	4			78	23	74				16	243
	人 員	1,192		195	6			230	69	240				48	404

令和2年度版

消防年報

令和4年1月発行

発行 白山野々市広域消防本部

石川県白山市三浦町255番地1

電話 (076) 276-1119